

旧下板木水泳プール他解体工事

設計図

旧下板木水泳プール他解体工事

		解体 跡整備		意匠	電気設備	機械設備	仮設（参考）図	
総合		プール		倉庫			ポンプ庫	
図 番	図面名称	A-7	プール解体後 平面図 S=1:100	A-18	倉庫 解体前 配置、平面図 S=1:50	A-22	ポンプ庫 解体後 平面、立面、伏せ図 S=1:50	
A-1	図面リスト	A-8	プール解体後 断面図 S=1:100	A-19	倉庫 解体前 立面図 S=1:50	A-23	ポンプ庫 解体前 平面、立面、伏せ図 S=1:50	
A-2	建築解体・撤去工事特記仕様書（1）	A-9	プール解体前 平面図 S=1:100	A-20	倉庫 解体前 展開図 S=1:50	K-2	ポンプ庫 解体中 平面、立面 仮設図 S=1:50	
A-3	建築解体・撤去工事特記仕様書（2）	A-10	プール解体前 立面図 S=1:100	A-21	倉庫 解体前 伏せ図 S=1:50			
A-4	家屋調査仕様書 S=1:600	A-11	プール解体前 断面図 S=1:100	K-2	倉庫 解体中 仮設平面図 S=1:50			
A-5	付近見取り図	A-12	プール解体前 断面詳細図 S=1:30					
A-6	配置図 S=1:600	A-13	洗眼、シャワー解体前 平面、断面図 S=1:30					
		A-14	プール解体前 給水設備配管図 S=1:100					
B-1	建築改修工事特記仕様書（1）	A-15	プール解体前 排水設備配管図 S=1:100					
B-2	建築改修工事特記仕様書（8）	A-16	洗眼、シャワー解体前 給水施設図 S=1:30					
		A-17	濾過棟内部 解体前後 平面図 S=1:50					
C-1	建築工事特記仕様書（1）	K-1	プール解体中 仮設平面図 S=1:100					
C-2	建築工事特記仕様書（8）							
E-1	電気設備工事特記仕様書							

				旧下板木水泳プール他解体工事		有限会社		アイ設計コンサルタント	
				図面番号 A-1 号		図面内容		広島県知事18（1）第1028号	
								一級建築士第157681号 杉 谷 優 治	
				年 月 日		図面リスト		A2版→100% A3版→70.7%	
				担 当		製 図		設 計	

[illegible]

[illegible]

家屋調査仕様書

- 1 工事名称 旧下板木水泳プール他解体工事（家屋調査）
- 2 業務場所 三次市三和町羽出庄10001番地1
- 3 業務内容 旧下板木水泳プール他解体工事に伴い、近隣建物（1棟）の地盤変動影響調査（事前調査）を行う

家屋調査対象建物

符号	構造・用途	延床面積
①	木造2階建て 住宅	約200㎡
②		約〇〇㎡
③		約〇〇㎡

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、〇〇工事に伴う地盤変動影響調査（事前調査）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ①用地調査等業務共通仕様書（広島県土木建築局制定（直近の改正版を用いること。）。以下「共通仕様書」という。）
- 3 特記事項は〇のついたものを適用する。

第2節 管理技術者及び照査技術者

- 1 受注者は、つぎの資格要件を有する管理技術者及び照査技術者を配置すること。
- （1） 管理技術者（資格要件は次のいずれかに該当する者）
- ①受注した用地調査等のうち主たる補償業務に関する補償業務に關し、7年の実務経験を有する者・・・実務経歴書を添付
- ②受注した用地調査等のうち主たる補償業務に関する補償業務管理士・・・資格を証する書面（コピー可）を添付
- ③補償コンサルタント登録規程第3条1号に規程する補償業務の管理を司る専任の者（補償業務管理者）・・・登録に当たり交付される補償コンサルタント登録済み証を証する書面の写し（コピー可）（登録部門に係る補償業務管理者の氏名が記載されたもの）を添付
- ④補償業務全般に関する指導監督実務の経験3年以上を含む20年以上の実務の経験を有する者・・・実務経歴書を添付
- 2 業務分野別金額（当該委託業務の契約金額に当該委託業務を構成する業務分野の構成比率を乗じて得た額。以下同じ）が500万以上の業務分野の管理技術者が、他の業務分野の管理技術者を兼務しようとする場合（異動等による場合を含む。）の取扱いは、当該業務と密接に関連する業務又はプロポーザル方式により発注した業務を兼務する場合を除き、原則として次のとおりとする。
- （1）業務分野別金額が2,500万円以上の業務分野管理技術者は、専任で配置することとする。
- （2）業務分野別金額が500万円以上2,500万円未満の業務分野管理技術者は、当該分野の外に5件以上の業務分野の管理技術者を兼務させない事とする。
- 3 管理技術者は、業務の確認に当たっては、用地調査等業務チェックマニュアル（案）（令和3年7月改正）により実施することとする。

第2章 打合せ協議等

第1節 打合せ協議等

- （1） この業務実施に先立つ打合せ協議を行う際は、用地調査等業務チェックマニュアル（案）（令和3年7月改正）により確認を行うこととする。
- （2） この業務実施のための土地・建物等への立入りにあたっては、事前に立入り方法等について調査職員と協議すること。

第2節 管理技術者の出席

この業務に関する打合せ協議を行う際は、管理技術者が立ち会うこと。

第3章

第1節 成果品の作成

- 成果品の作成にあたっては、次のことを明記した概説書を作成し添付するものとする。
- 概説書の作成部数は2部とする。（調査対象物所有者の確認後、1部は監督職員に、1部は調査対象物所有者へ提出する。）
- ・建物等の概要（所有者・使用者・構造・用途・経過年数・延床面積等）
 - ・事前調査における損傷箇所等の状態及び程度
 - ・外部・室内ともクラックの長さ及び幅の確認が出来る程度の写真（4面共）
 - ・屋根の瓦の割れ、ずれの確認できる写真

第4章 その他

第1節 関連図書等

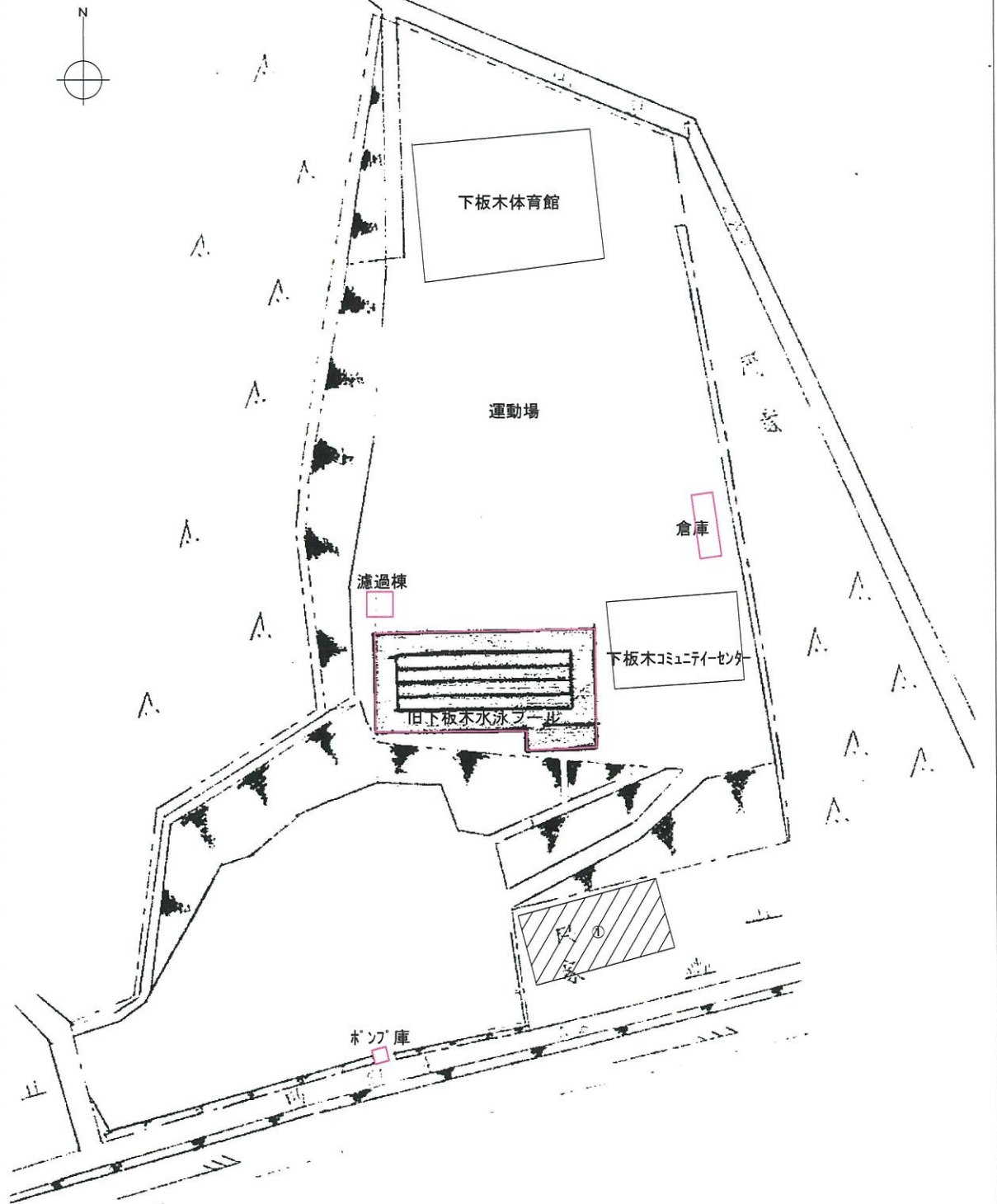
- この業務は共通仕様書によるもののほか、次の図書により実施するものとする。
- ・公共事業に係る工事の施行に起因する地盤変動により生じた建物等の損害等に係る事務処理要領（昭和61年4月1日付け建設省経整発第22号建設事務次官通達）
 - ・公共事業に係る工事の施行に起因する地盤変動等により生じた建物等の損害等に係る事務処理要領（平成15年4月1日付け広島県土木建築部）

第2節 チェックリスト

- （1） 管理技術者及び照査技術者は当該対象項目を確認の上、成果品のチェックを行い、それぞれの欄に〇をつけるものとする。
- （2） チェックリストは2部作成し、発注者及び受注者がそれぞれ1部を保管する。

第3節 調査留意事項等

配置図 S=1:600



旧下板木水泳プール他解体工事

図面番号 A-4 号

図面内容

1/600

年 月 日

家屋調査仕様書

A2版→100%
A3版→70.7%

有限会社

アイ設計コンサルタント

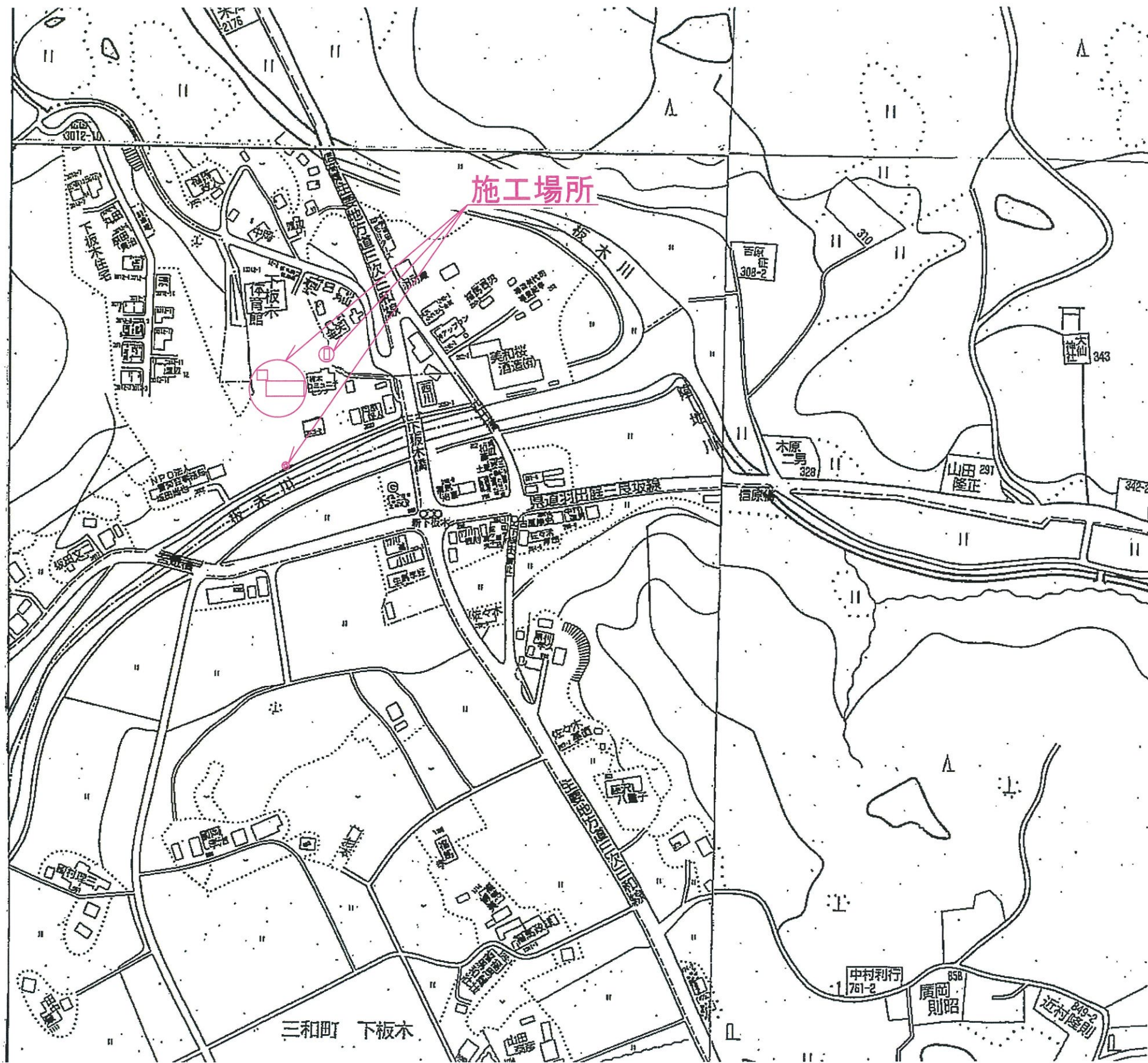
広島県知事18(1)第1028号

一級建築士第157681号 杉谷 優治

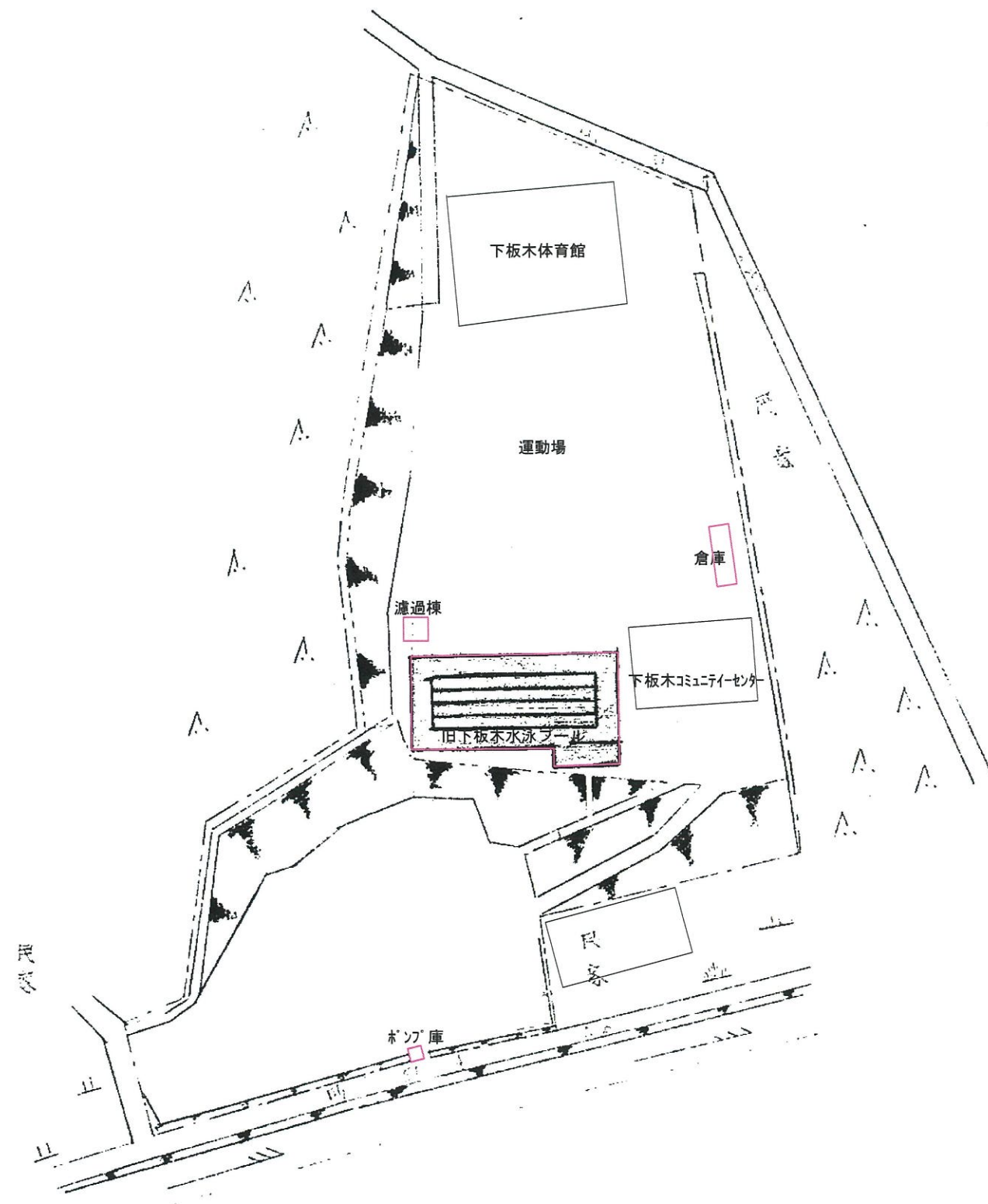
担当

製図

設計



旧下板木水泳プール他解体工事		有限会社 アイ設計コンサルタント	
図面番号 A-5 号	図面内容	広島県知事18(1)第1028号 一級建築士第157681号 杉谷 優 治	
年 月 日	付近見取り	担当	製図 設計



旧下板木水泳プール他解体工事			有限会社 アイ設計コンサルタント	
図面番号 A-6 号		図面内容	広島県知事18(1)第1028号	
年 月 日		配置図 S=1:600	一級建築士第157681号 杉 谷 優 治	
			担 当	製 図
				設 計

9

床点検口

材種	寸法 (mm)	形式	備考
・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600 ・	・ 一般形 ・ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。
(品質・性能)

部材名	材質	屋内外用	屋内用
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材 ステンレス製	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602の8種又はJIS H 8601のAA15 JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上り程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上り程度
	鋼製	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの

二重蓋の中蓋	鉄鉄	JIS G 5501のFC150、FC200	
その他	塩化ビニル樹脂製等		

目地材	黄銅	JIS H 3100 のG2600、G2720、G2801 JIS H 3250 のG3602、G3604	
	ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304	

底板材 コーナ ピース底板補強 材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430
	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理 陽極酸化被覆 合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	—
	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの

パッキン材 塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等軟材の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの

アンカー材 鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの

取手 黄銅鋼板製、黄銅製、アルミニウム押出型材・合金鋼板製、ステンレス鋼板製、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出型材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする

鍵 黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする
施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする

蓋の耐荷重性能 蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。
受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。
破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。

受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下
蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下
受け枠と蓋枠のクリアランス 片側0.2mm以内
(試験方法)
耐荷重試験
試験体は、張物用とし、600mm角程度、径見込みは、40mm以下とする。
試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。
本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。
本試験は、1,000Nで加圧、荷重降下を3回繰り返した後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。
測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について、1,000Nまで3回繰り返す。

10

手すり

材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所
・ 集成材 ・ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ ・ ビニル製ハンドレール	・ クリアラッカー ・ HL程度 ・ S O P ・ E P	・ 35 ・ 45	

11

天井見切り縁等

壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種
※ アルミニウム既製品 ・ ビニル既製品

12

視覚障害者用床
タイル
(視覚障害者誘導
用ブロック)

(1.1.2.2、1.9.2.2)			
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内	・ 塩化ビニル製 ・ セラミックタイル ・ レジンコンクリート製 ・ コンクリート製	※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300	・ 7.0 ・ ・ ・
屋外	・ セラミックタイル ・ レジンコンクリート製 ・ コンクリート製	※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300	・ ・ ・

突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による

13

鉄筋

8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び名	備考
※ S D 2 9 5 A ※ S D 3 4 5	※ D 1 6 以下 ※ D 1 9 以上	

14

溶接金網

8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)

種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考
※ 溶接金網 ・ 鉄筋格子		

15

鉄筋の継手及び定着

8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)

鉄筋の継手の方法等
※ 重ね継手
・

鉄筋の重ね継手の長さ
※ 4.0 d と標準仕様書表 5.3.2 の重ね継手の長さのうち大きい値とする
・

鉄筋の定着長さ
※ 柱に取り付けする梁の引張り鉄筋の直線定着長さは 4.0 d 以上とし、それ以外は
標準仕様書表 5.3.4 による

16

コンクリートの気乾
単位容積質量による
種類及び強度等

8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)

設計基準強度 (F c)	スラブ (c m)	適用箇所
[N/mm ²] ※ 2 4 ・	※ 標準仕様書表6.2.2による ・	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)

17

セメント

種類 (6.3.1)

※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
・ 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメントB種

18

型枠

8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)

せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 12mm)
・ メッシュ型枠
・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ 25mm以下かつ熱抵抗値 1 m²h²℃/k c a l 以上

19

無筋コンクリート

8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)

種類	設計基準強度 (F c)	スラブ (mm)	施工箇所
[N/mm ²] ※ 普通コンクリート ・	※ 1 8 ・	※ 1 5 ・	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による

種類
※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
・ 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメントB種

20

床コンクリート
直均し仕上げ

(8.1.4)(表8.1.5)

仕上げの平たんさは、図示以外は下記による

改修標準仕様書表8.1.5に よる平たんさの種別	施工箇所
a 種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア (露敷式) ()
b 種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材張り ()
c 種	タイル張り、モルタル張り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ()

※ 遮音機コンクリート架台ハットリ跡・レベリング材流し (14.1.3)

6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による
あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない

21

あと施工アンカー

(14.1.3)

6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による
あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない

22

トイレブース

(2.0.2.5)

|--|

[illegible]

[illegible]

Ⅰ. 工 事 概 要

1. 工事名称

旧下板木水泳プール他解体工事

2. 工事場所

三次市三和町羽出底10001番地1

3. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備 考
普通棟	鉄骨造	1	12		普通棟から倉庫

4. 工事種目

(〇印の付いたものが対象工事種目)

建物別及び屋外	工 事 種 別
〇 電灯設備	
・ 動力設備	
・ 電熱設備	
・ 雷保護設備	
・ 受変電設備	
・ 電力貯蔵設備	
・ 発電設備	
・ 構内情報通信設備	
・ 構内交換設備	
・ 情報表示設備	
・ 映像・音響設備	
・ 拡声設備	
・ 誘導支援設備	
・ テレビ共同受信設備	
・ 監視カメラ設備	
・ 駐車場管制設備	
・ 防犯・入退室管理設備	
・ 火災報知設備	
・ 中央監視制御設備	
・ 医療関係設備	
・ 構内配電線路	
・ 構内通信線路	

5. 指定部分

※ 無し ・ あり (工期 令和 年 月 日)

対象部分:

(改修工事の場合の部分使用 ※ 無し ・ あり)

Ⅱ. 工 事 仕 様

1. 共通仕様

(1)特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官営庁舎部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）」）（以下「標準仕様書」という）及び「公共建築設備工事標準工（電気設備工事編）（平成31年版）」（以下「標準工」という）による。

(2)機械設備工事及び建築工事を含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

(3)本工事は工事中及び完成後に必要に応じ点検を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。

ア 公共事業労務費調査…工事中に実施（調査票の入提出、発注者実施への協力等）

イ 契約不適合調査…建設工事請負契約約款第4 6条の5に定める期間内

2. 特記仕様

(1)項目は、番号に〇印の付いたものを適用する。

(2)特記事項のうち選択する事項は〇印の付いたものを適用する。ただし、〇印のない場合は※印を適用する。

(3)標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。

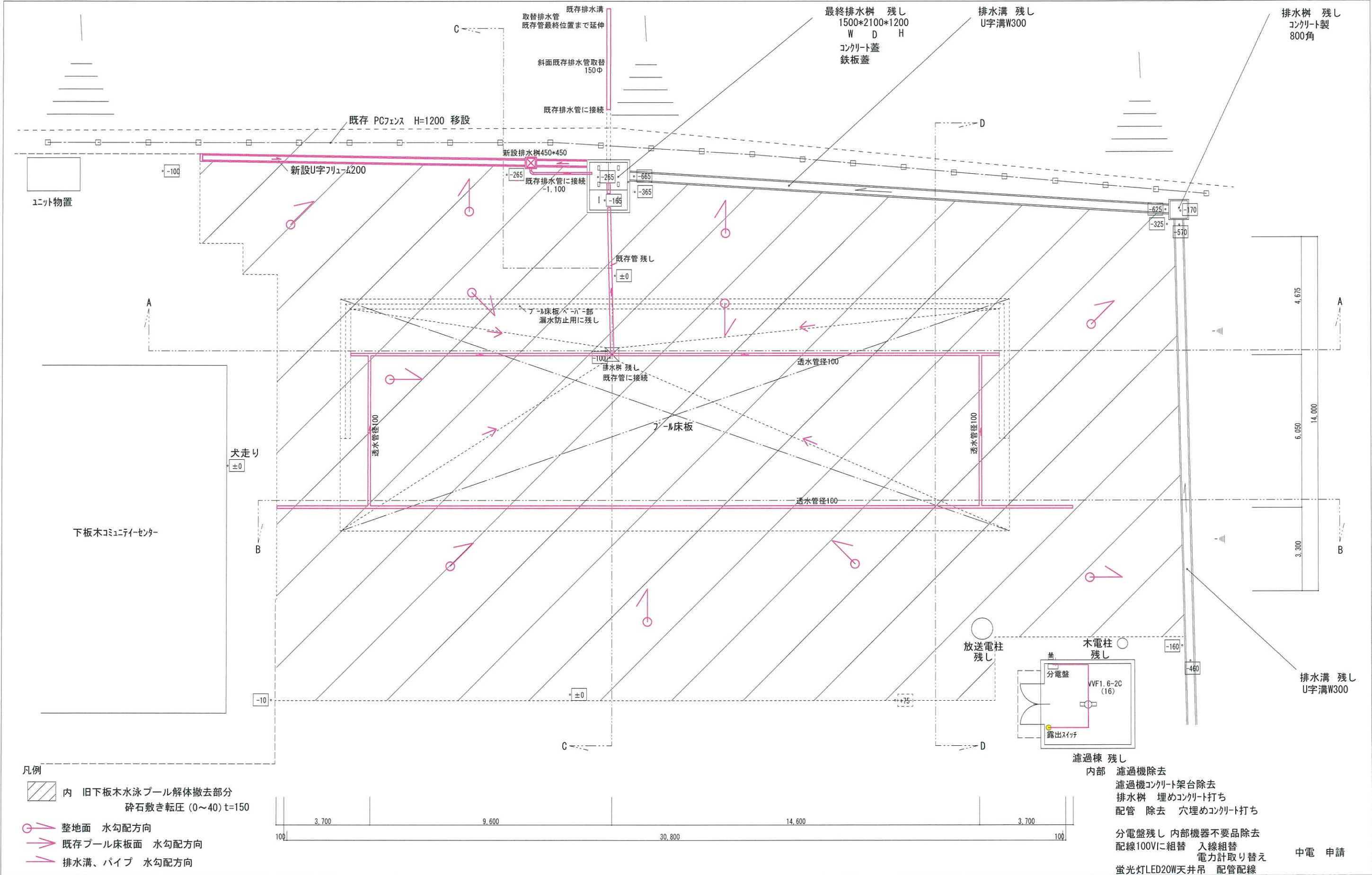
項 目	特 記 事 項
① 施工条件	現場説明書による。
2. 工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工安全施工技術指針を参考に、工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を監督職員に提出する。
3. 施工調査	施工に先立ち、改修工事関連（施工部位により既存性能を損なうおそれのある）部分の事前調査を行い監督職員に報告書を提出する。（・ 調査を行う前に監督職員に調査計画書を提出する。） 撤去する機器類等について、製造年、品番等を確認し特別管理産業廃棄物の有無を調査し、監督職員に報告する。・微量PCB含有機器（・変圧器・アスベスト含有設備資機材（・配線用遮断器・））
④ 発生材の処理	引渡しを要するもの ※無 ・有（・金属類 ・酸類 ・電線、ケーブル ・特別管理産業廃棄物 ※無 ・有 ・本工事において調査を行う。）（・PCB使用機器 ・アスベスト含有設備資機材（・配線用遮断器・）） 特別管理産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理する。 工事中、特別管理産業廃棄物が発生すると判明した場合、その処理方法は監督職員と協議する。 放射性物質を含むイオン化式感知器 ※ 無 ・有 製造業者又は販売業者に回収を委託する。（・別途 ※ 本工事） 再生資源化を図るもの ※無 ・有（・蛍光管 ・HIDランプ ・小型二次電池 ） (1)本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設）であったは、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。 (2)本工事における再生資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、(1)に掲げる施設のうち受け入れ条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいく。従って、正当な理由がある場合を除き再生資源化に要する費用（単価）は変更しない。 (3)本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事では、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいく。 (4)本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を要するものとする。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 また、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づき策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。 (2)別表-1に示す機材等を使用する場合は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することが出来る。 ①品質及び性能に関する試験データを整備されていること ②生産施設及び品質の管理が適切に行なわれていること ③安定的な供給が可能であること ④法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。

⑥ 完成時の提出書類等

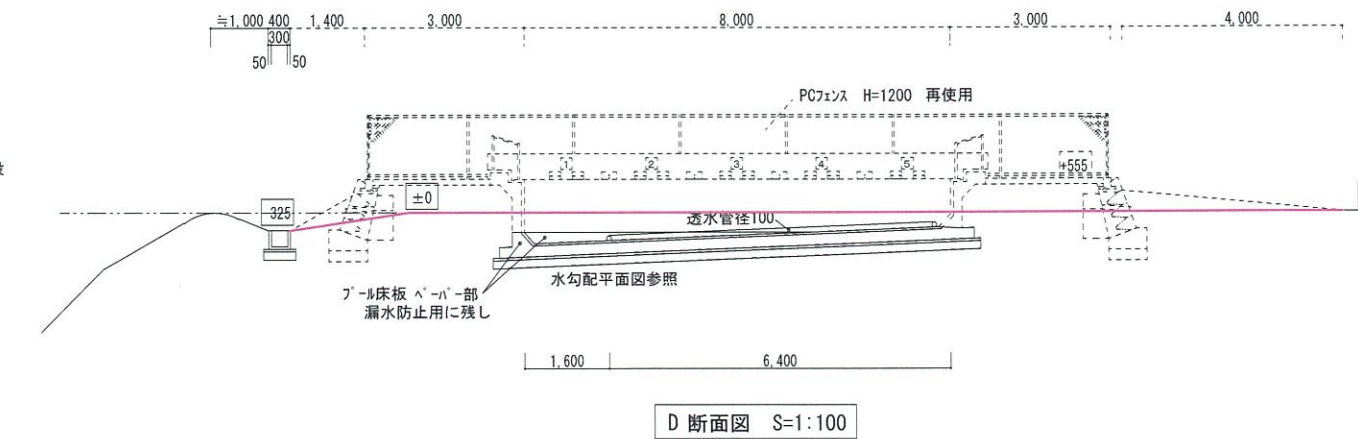
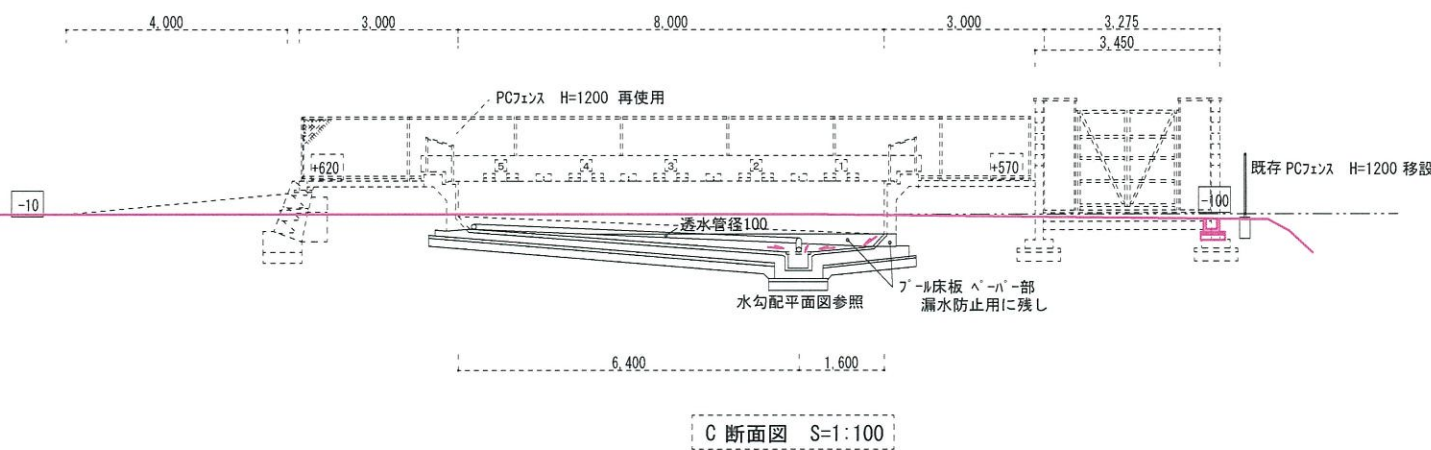
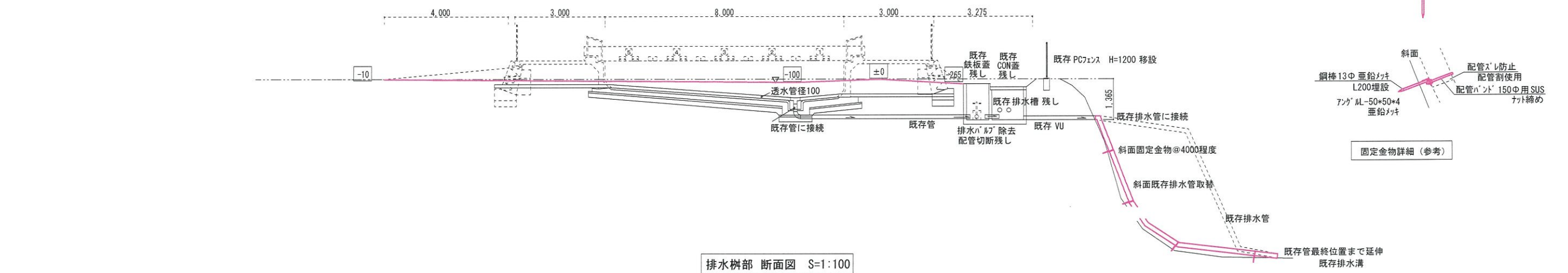
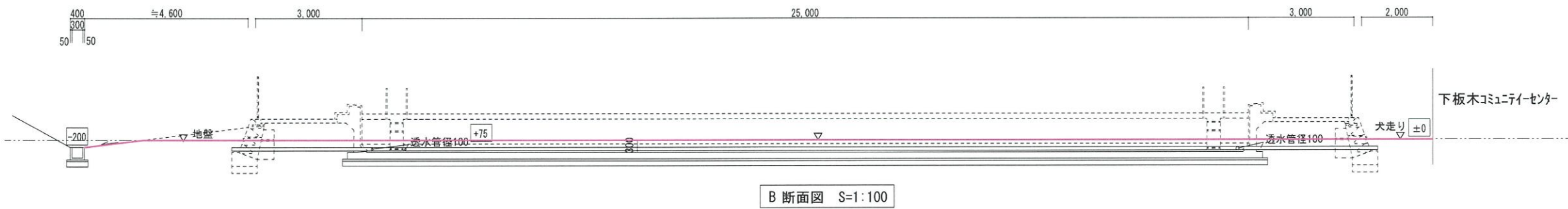
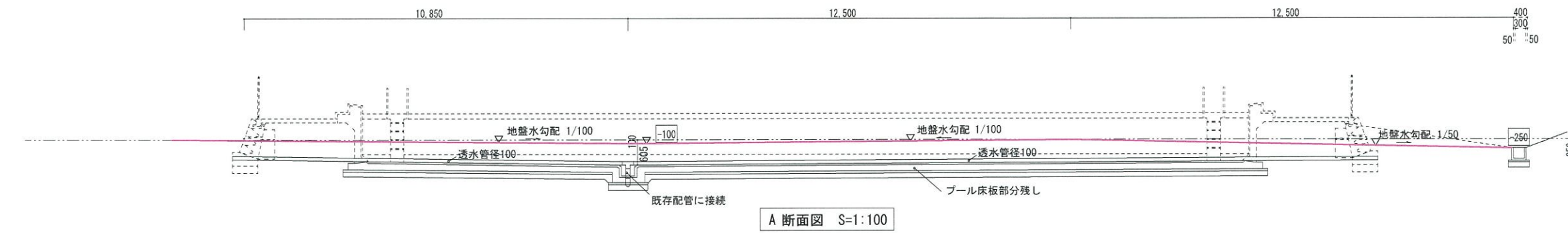
(1) 工事完成図書引渡書A4版 2部
(2) 完成図書 1部
(3) 完成図書 施工図面二折り製本A3版製本 1部
(4) 縮小完成図書 施工図面二折り製本A4版製本 2部
(5) 工事写真 1部
(工事中写真A4版カラーサービス版)
(完成写真A4版カラーサービス版) 2部
(6) 電子成果品 (電子納品) CDR 2部
(7) 工事監理図書A4版 1部
(8) 工事概要図書A4版 2部
(9) 諸官庁届出書類一覧表A4版 1部
諸官庁届出書類 (正) A4版 1部
(10) 運転操作説明書A4版製本・取扱説明書 1部
(11) 展開接続図A3版製本 部
(12) 保全管理台帳A4版・設備台帳A4版 部
(13) 型式台帳 式
※型式台帳は、監督職員が指定する様式で作成する。建物で使用する部材、機器を記入し提出すること。
※建築工事に伴う工事の提出部数は、建築工事に合わせる。
※工事写真は「査様工事写真作成要領」によるほか監督職員の指示による。
※既存完成図（CADデータ含む）の修正を行う（間仕切り・室名も現状に合わせて修正する）。
別契約の関係工事との取合いを十分に打合せ、各現場代理人捺印の上提出する。なお、当該建物の取得する施工図の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
2. 足場
本工事で設置する。 ・ 外部足場 (種) ・ 内部足場 (種)
3. 工事用電力、水、その他
本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
4. 監督職員事務所
本工事で設置する
5. 受注者事務所その他
構内につくることが出来る
6. 建設発生土の処理
※ 現場説明書の施工条件明示による
・ 構内指示場所に敷き均し
・ 構内指示場所に堆積
7. 非破壊検査
はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い監督職員に報告する。検査方法は電磁誘導式を原則とする。放射線透過検査等による埋設物の調査実施する場合、範囲は監督職員の指示による。なお、検査費は別途とする。
8. 既存躯体への穿孔
穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工すること。
9. あと施工アンカー
施工後確認試験
試験方法 引張試験機による引張り試験
試験面数 1施工単位に対し1本以上
対象機器 (・配電盤 ・非常用発電機 ・直流通電装置 ・変圧器 ・)
確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上
最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。
設備機器の固定は次に示す設計用地震力に耐える方法とする。
ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造業者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。
(1) 機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器重量 [kN] に、地域係数 (・1.0 ※0.9 ・0.8) と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。
設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下及び1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6

上層とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
水槽類には燃料小出し槽を含む。
重要機器は次のものを示す。
(・配電盤 ・非常用発電機 ・直流通電装置 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・火災報知受信機 ・中央監視制御装置 ・通信総合盤 ・)
(2)設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力



旧下板木水泳プール他解体工事			アイ設計コンサルタント		
図面番号 A-7 号		図面内容		広島県知事 18 (1) 第 1028 号	
年 月 日		解体後 平面図 S=1:100		一級建築士第157681号 杉 谷 優 治	
				担当	製 図
					設 計



旧下板木水泳プール他解体工事

図面番号 A-8 号

図面内容

年 月 日

解体後 断面図 S=1:100

有限会社

アイ設計コンサルタント

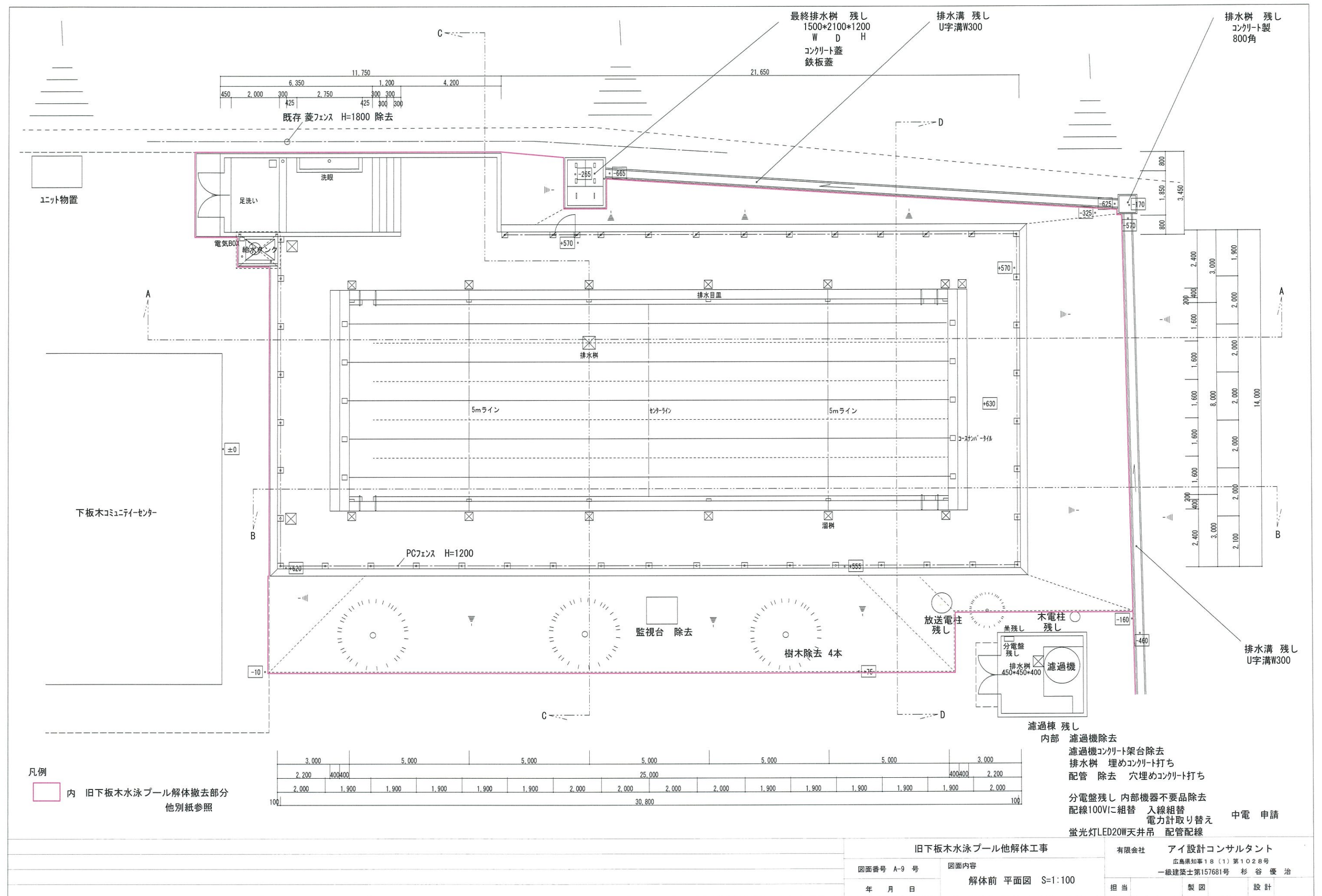
広島県知事18(1)第1028号

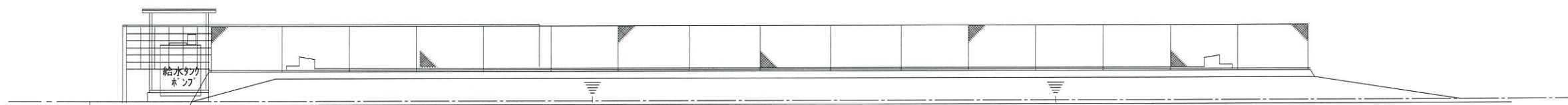
一級建築士第157681号 杉谷 優 治

担 当

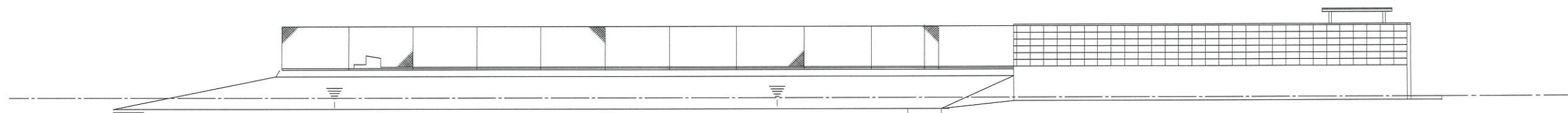
製 図

設 計

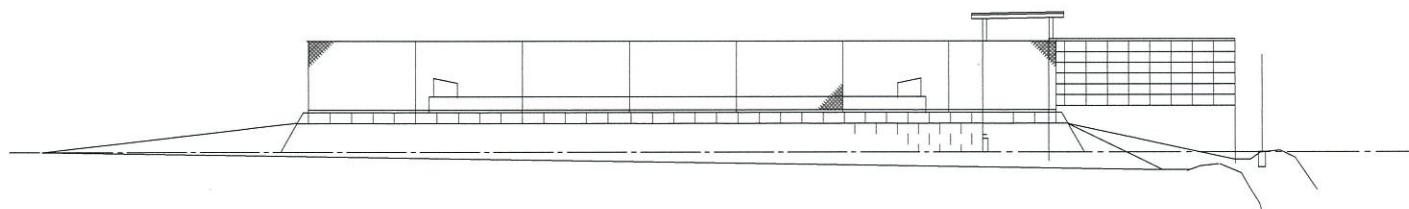




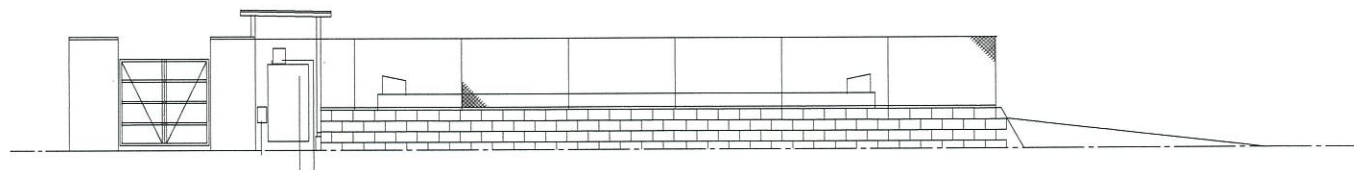
北側立面図 S=1:100



南側立面図 S=1:100

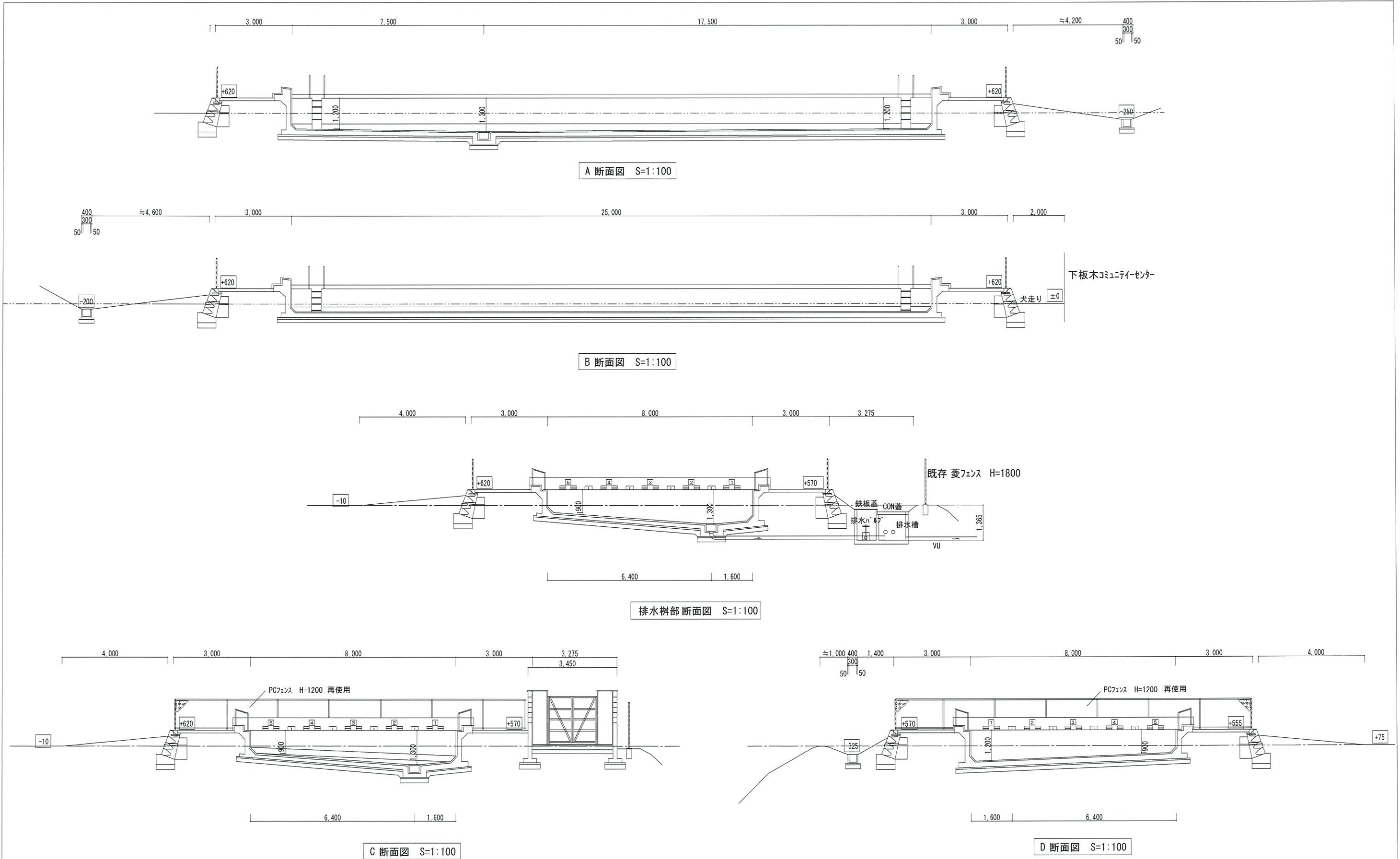


西側立面図 S=1:100

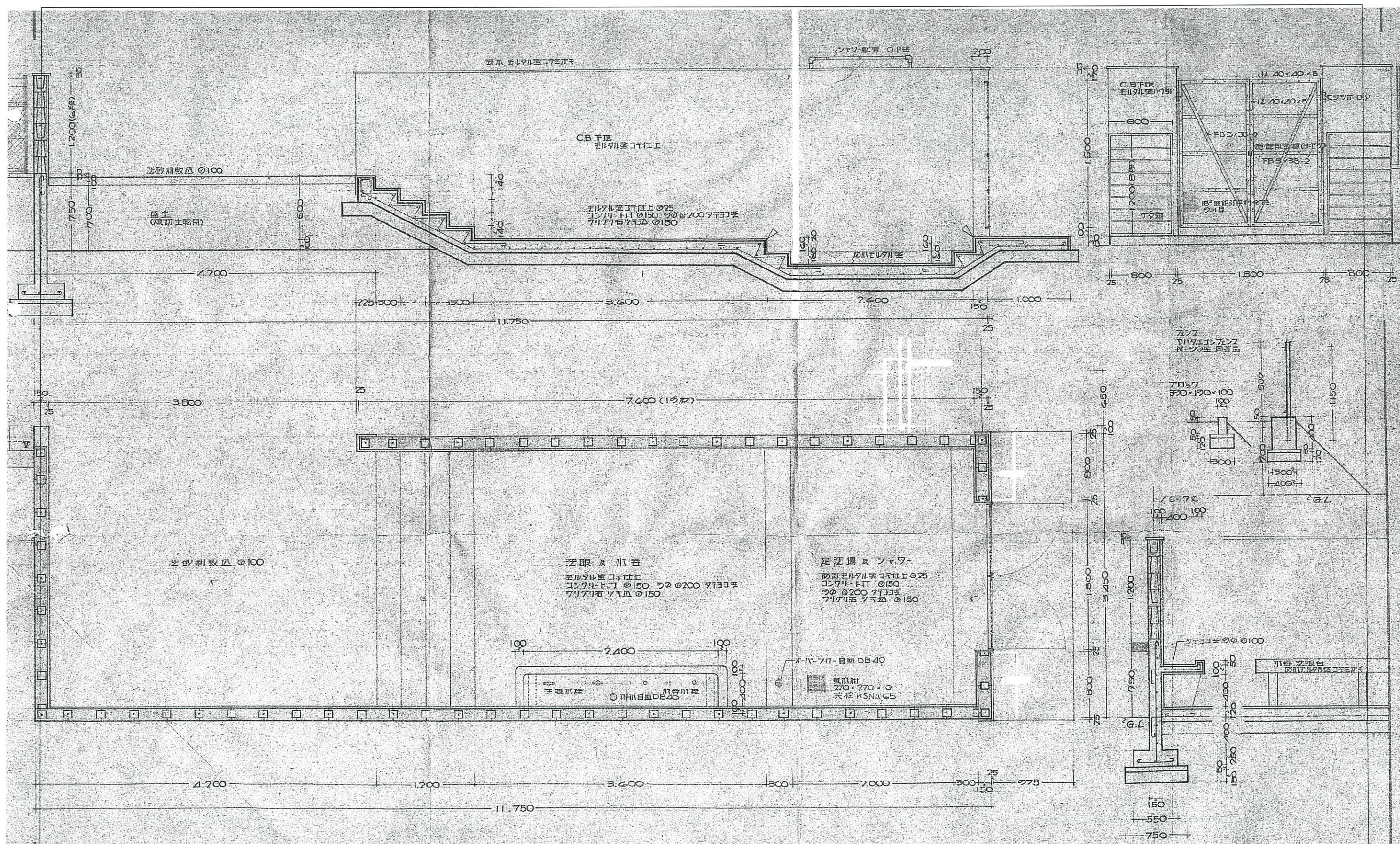


東側立面図 S=1:100

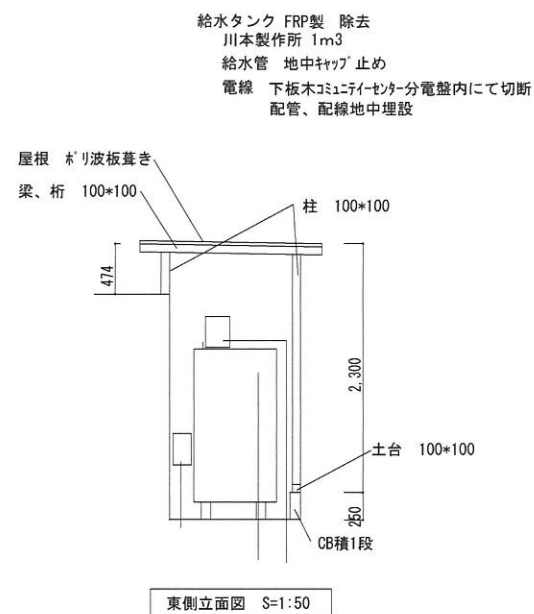
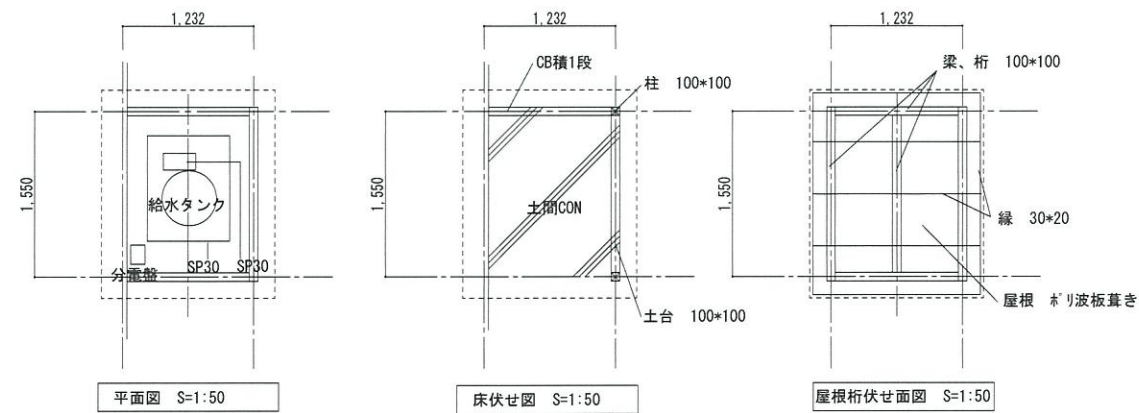
			旧下板木水泳プール他解体工事		有限会社 アイ設計コンサルタント	
			図面番号 A-10 号	図面内容	広島県知事18(1)第1028号 一級建築士第157681号 杉谷優治	
			年 月 日	解体前 プール立面図 S=1:100	担当	製図 設計



旧下板木水泳プール他解体工事			有限会社 アイ設計コンサルタント		
図面番号 A-11 号		図面内容		広島県知事18(1)第1028号	
年 月 日		解体前 断面図 S=1:100		一級建築士第157681号 杉 谷 優 治	
				担 当	製 図 設 計



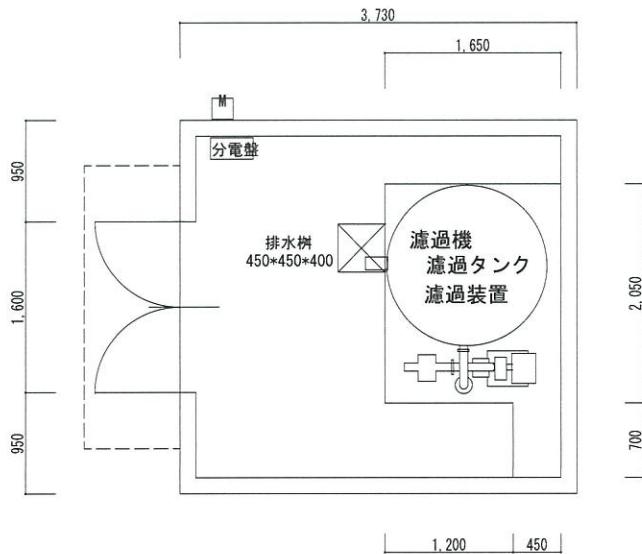
旧下板木水泳プール他解体工事			有限会社 アイ設計コンサルタント		
図面番号 A-13 号	図面内容		広島県知事18(1)第1028号		
年 月 日	解体前 シャワー部 平面、断面図 S=1:30		一級建築士第157681号 杉谷 優 治		
	担 当	製 図	設 計		



建屋除去(基礎共)
電気、機械設備除去

洗眼、シャワー用 給水施設

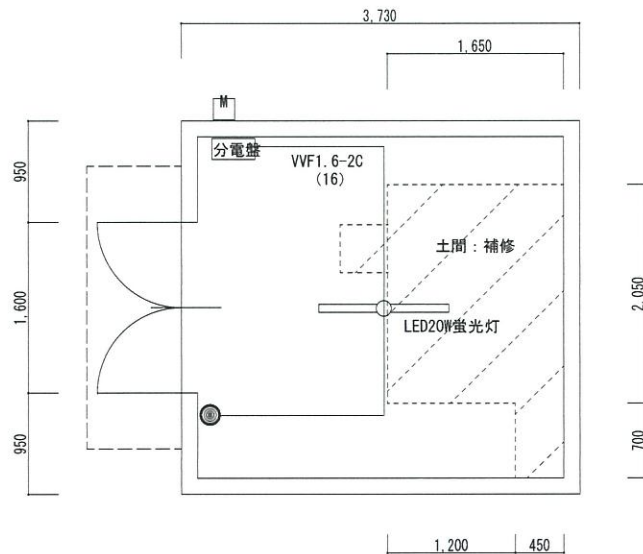
			旧下板木水泳プール他解体工事		有限会社 アイ設計コンサルタント		
			図面番号 A-16 号	図面内容 既存 洗眼、シャワー給水施設図 S=1:50	広島県知事18(1)第1028号 一級建築士第157681号 杉 谷 優 治		
			年 月 日		担 当	製 図	設 計



除去範囲

濾過機
濾過タンク (三進急速濾過装置SRP-1400)
濾過装置
給水管 土間上にて切断 コンクリート埋め
送水管 土間上にて切断 コンクリート埋め
電力計 入線 除去 中電申請
電源：分電盤内 機器遮断器全除去
電線管： 電力計より分電盤まで残し
他除去 土間面にて切断 コンクリート埋め
電線： 除去
濾過機用 コンクリート台： ハツリ除去 H=100 床面補修
排水口： 排水管 コンクリート埋め
樹 コンクリート埋め

解体前平面図 S=1:50



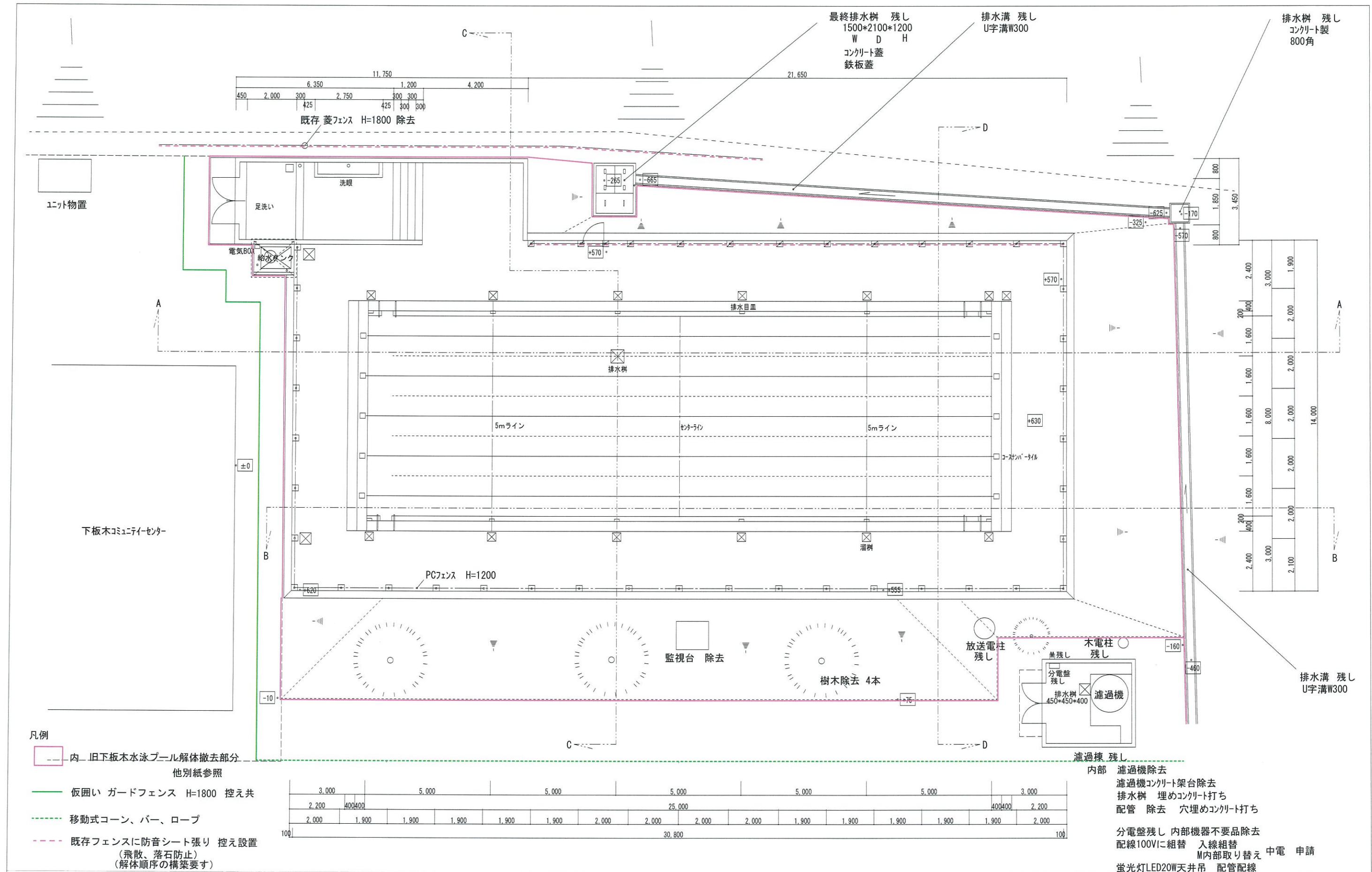
改修範囲

電力計 取替 中電申請
LED20W蛍光灯
電源： 分電盤内 100V遮断器設置
電線、配管： VVF1.6-2C (16) 露出
露出スイッチ

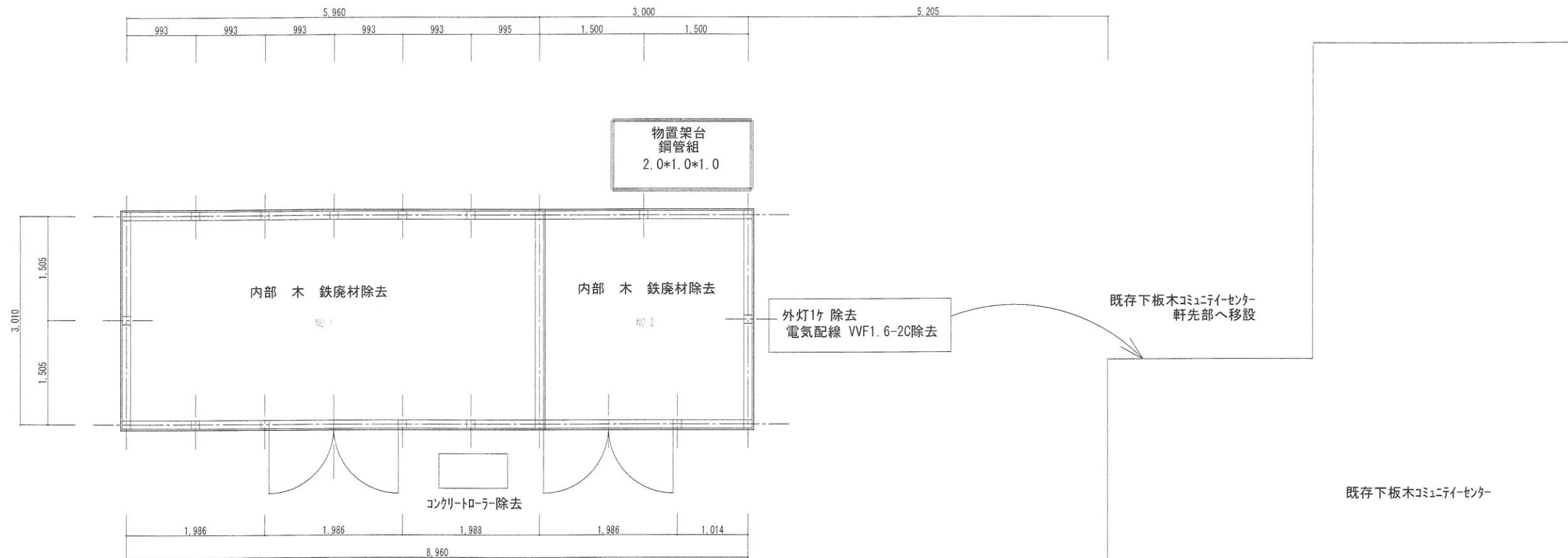
解体後平面図 S=1:50

濾過棟 平面 S=1:50

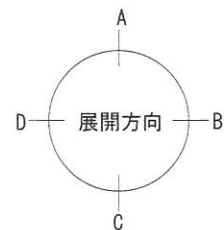
旧下板木水泳プール他解体工事				有限会社 アイ設計コンサルタント			
図面番号 A-17 号		図面内容		広島県知事18(1)第1028号			
年 月 日		解体前、後 濾過棟平面 S=1:50		一級建築士第157681号 杉 谷 優 治			
				担 当	製 図	設 計	



旧下板木水泳プール他解体工事			有限会社 アイ設計コンサルタント		
図面番号 K-1 号			広島県知事18(1)第1028号		
年 月 日			一級建築士第157681号 杉 谷 優 治		
解体中 仮設平面図 S=1:100			担当	製図	設計



倉庫 平面図 S=1:50



旧下板木水泳プール他解体工事

図面番号 A-18 号

図面内容

解体前 倉庫 配置、平面図
S=1:50

年 月 日

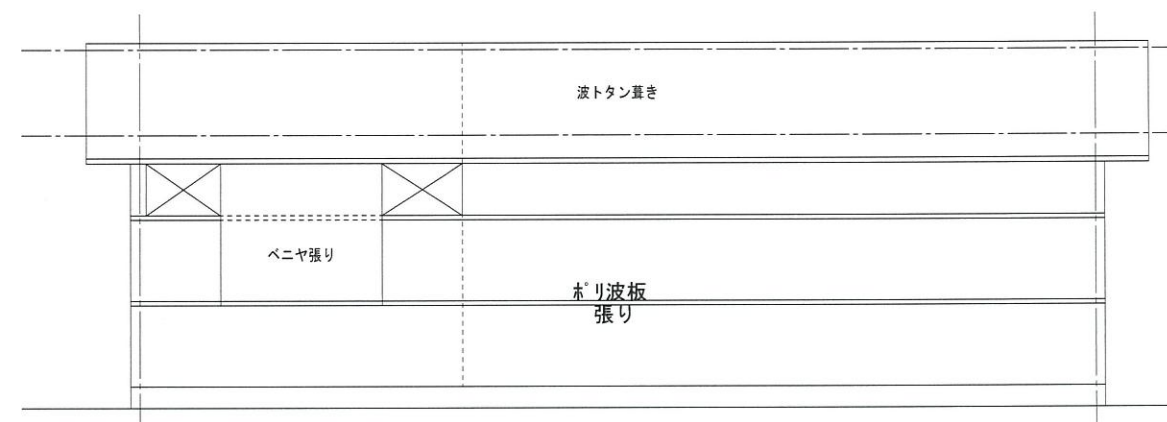
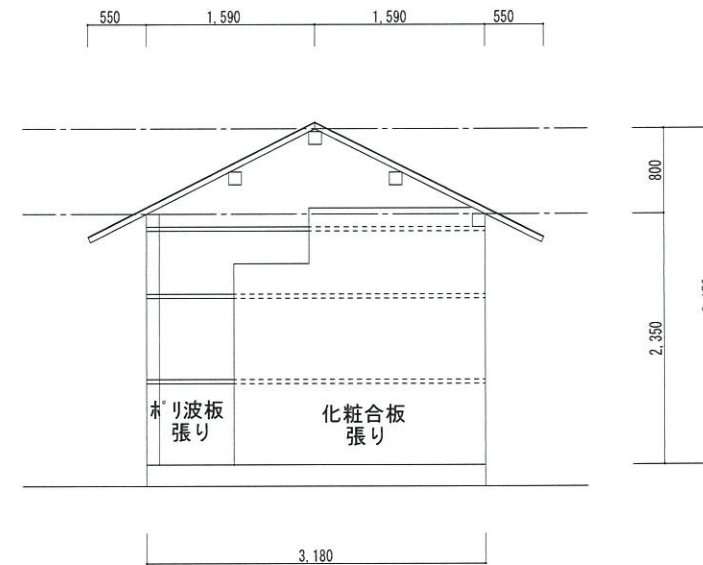
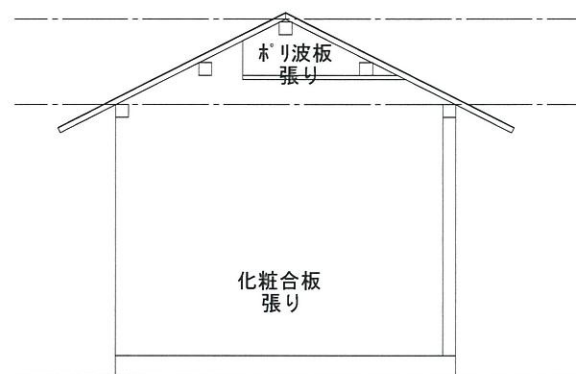
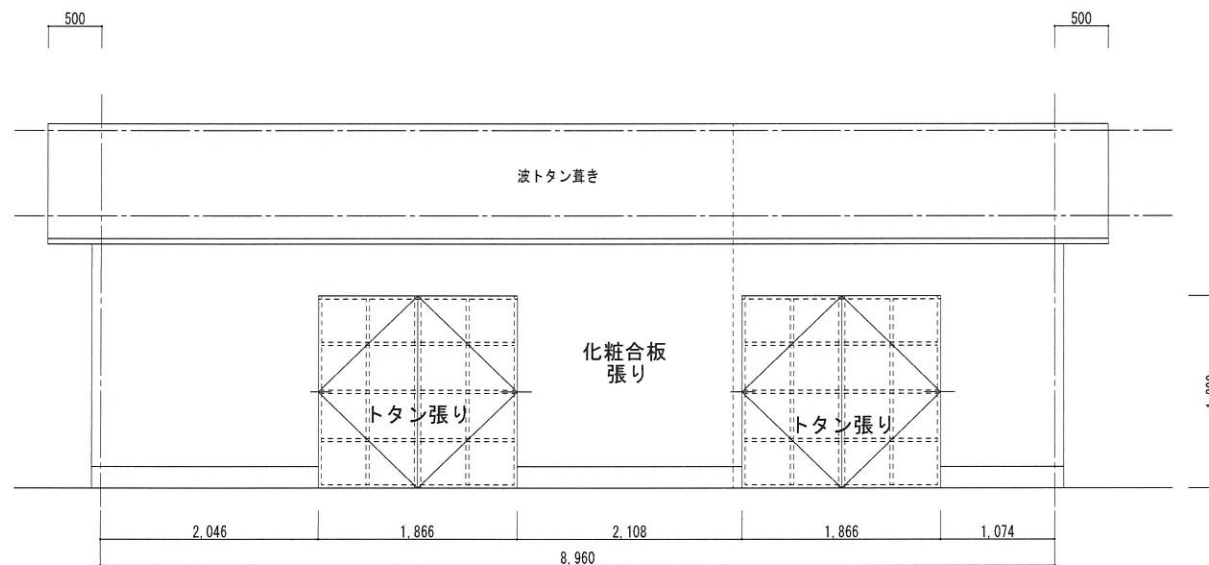
有限会社 アイ設計コンサルタント

広島県知事18(1)第1028号
一級建築士第157681号 杉谷 優治

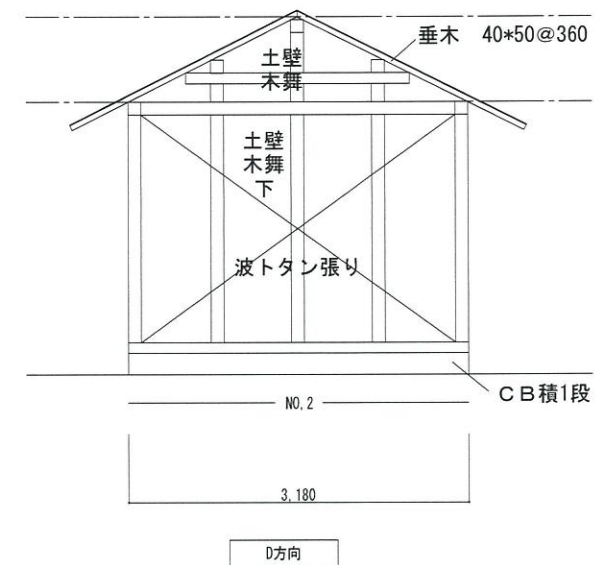
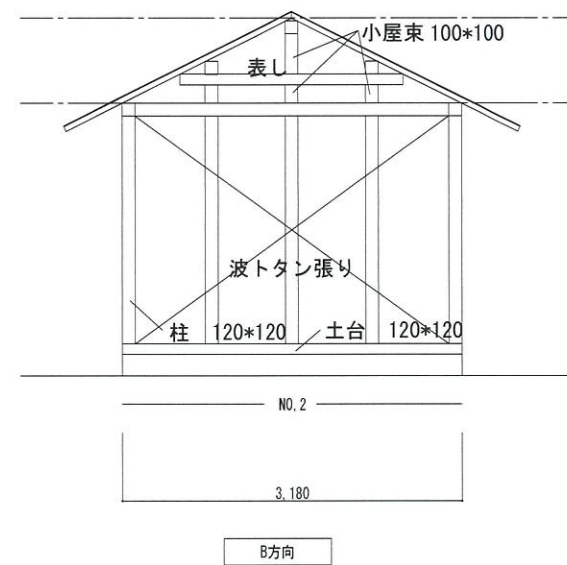
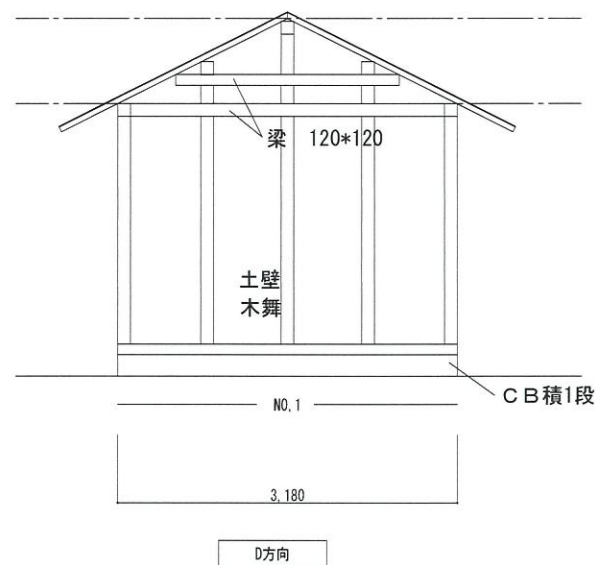
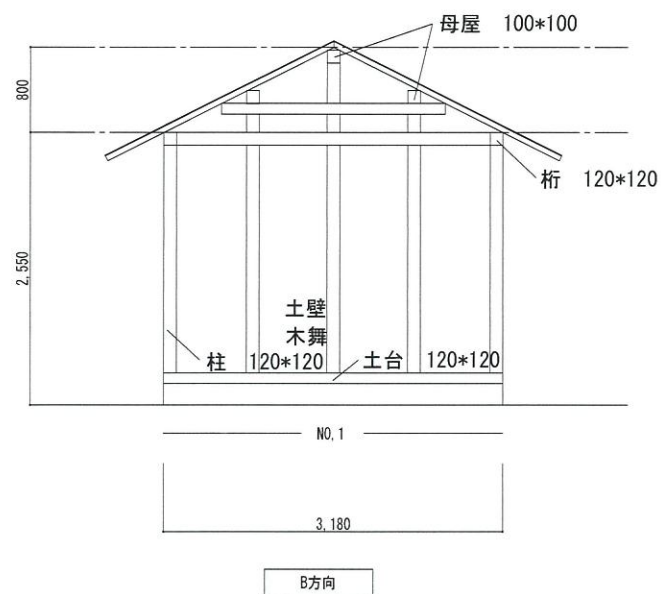
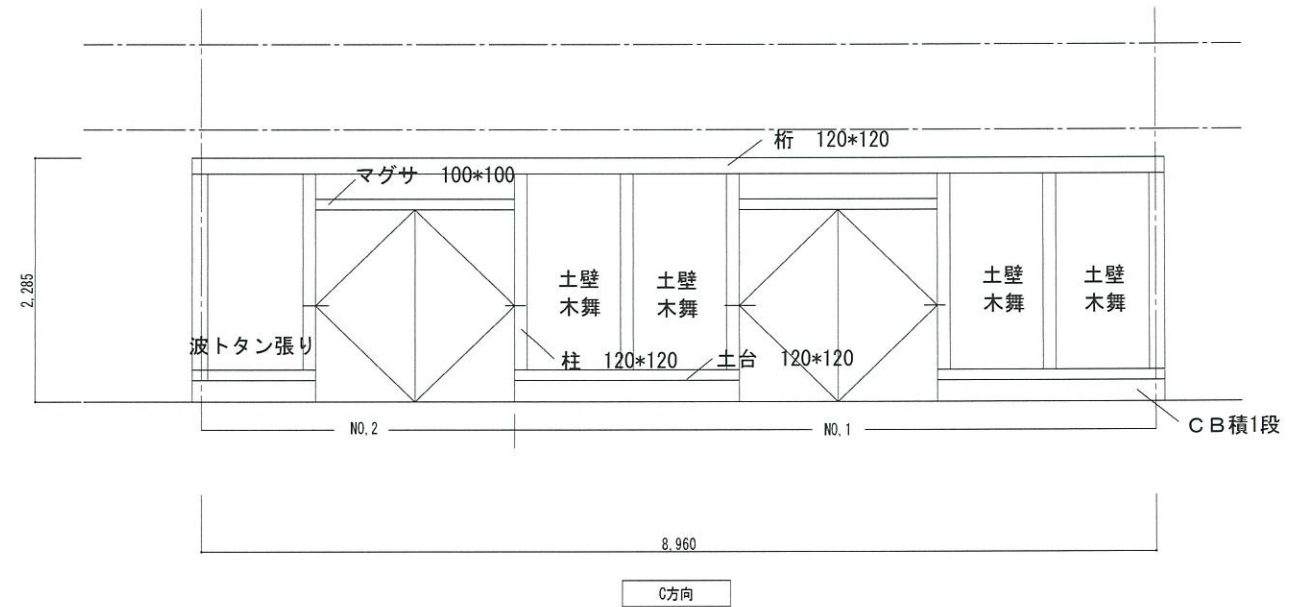
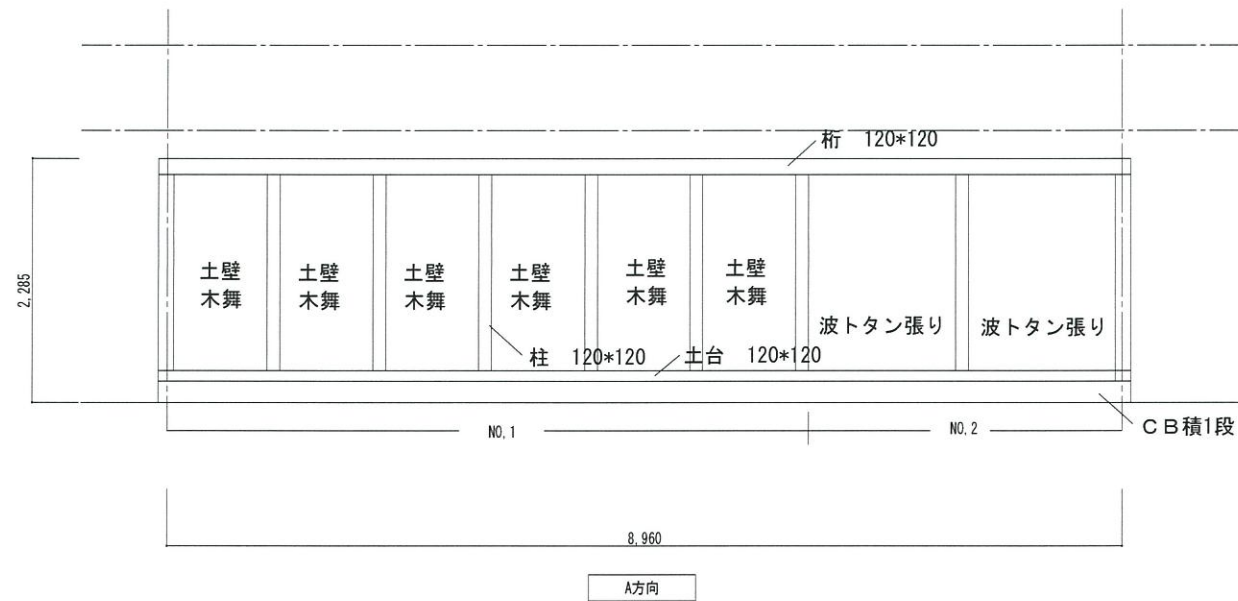
担当

製図

設計



旧下板木水泳プール他解体工事			有限会社 アイ設計コンサルタント	
図面番号 A-19 号			広島県知事18(1)第1028号	
図面内容			一級建築士第157681号 杉谷優治	
年 月 日			担当	製図
解体前 倉庫 立面図			設計	
S=1:100				



旧下板木水泳プール他解体工事

図面番号 A-20 号

図面内容

解体前 倉庫 展開図 S=1:50

年 月 日

有限会社

アイ設計コンサルタント

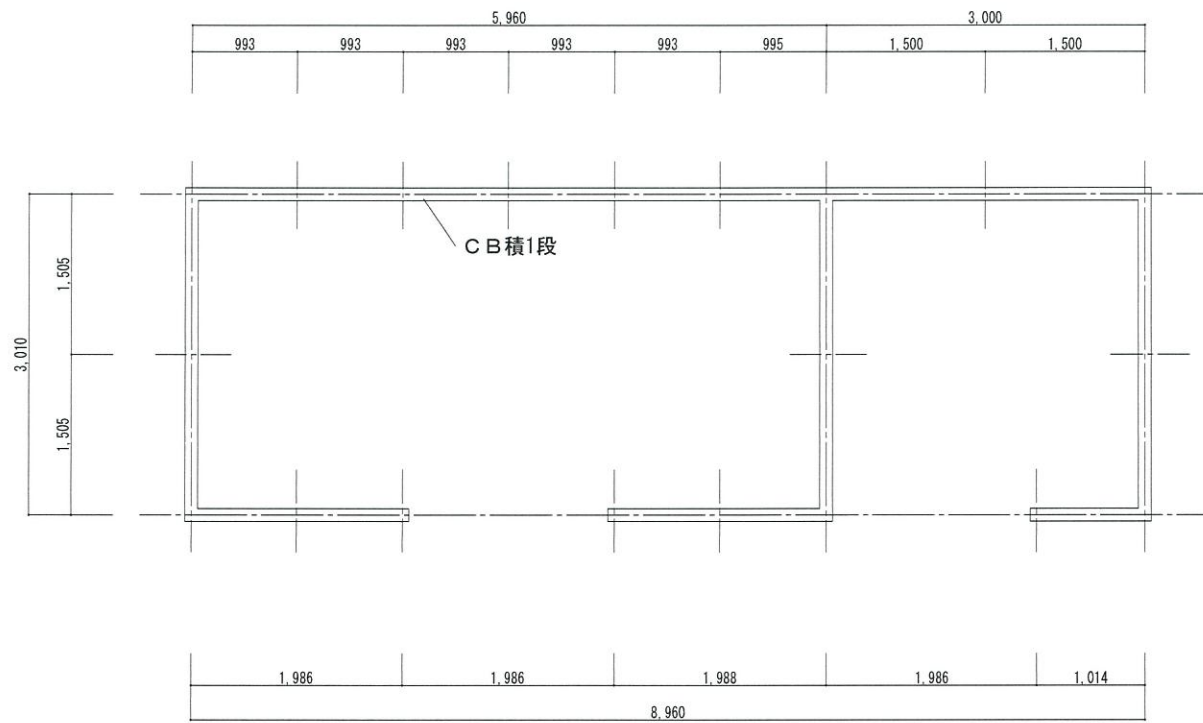
広島県知事18(1)第1028号

一級建築士第157681号 杉谷 優治

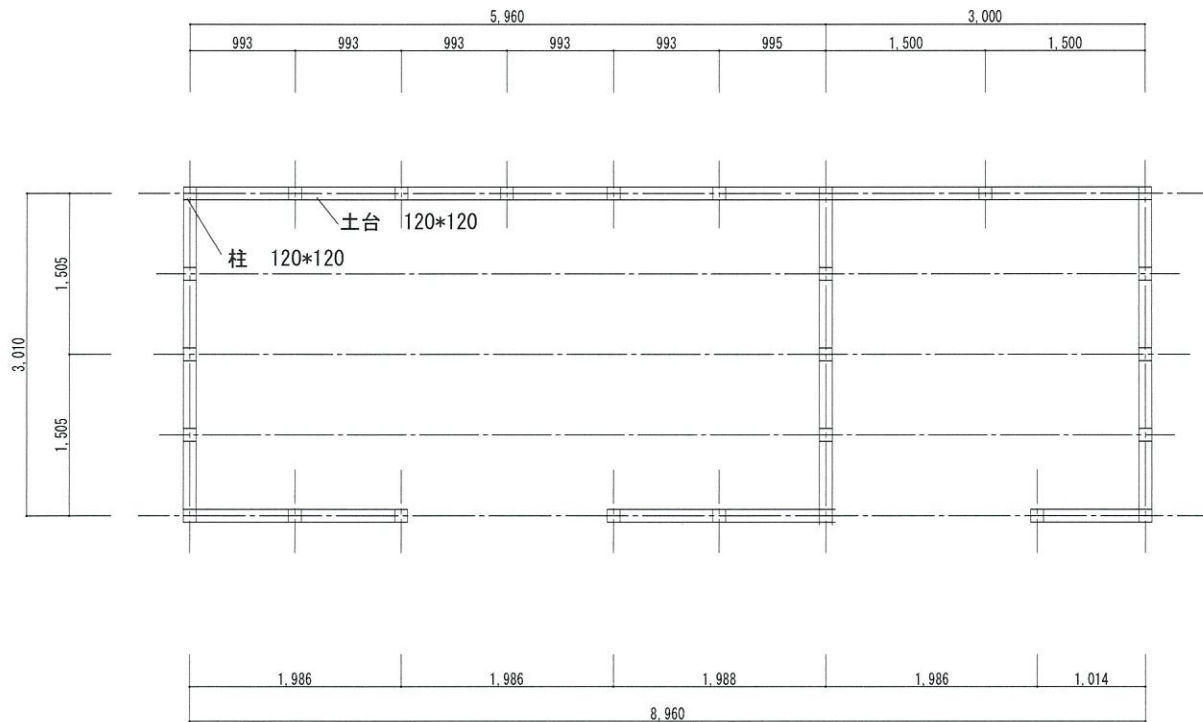
担当

製図

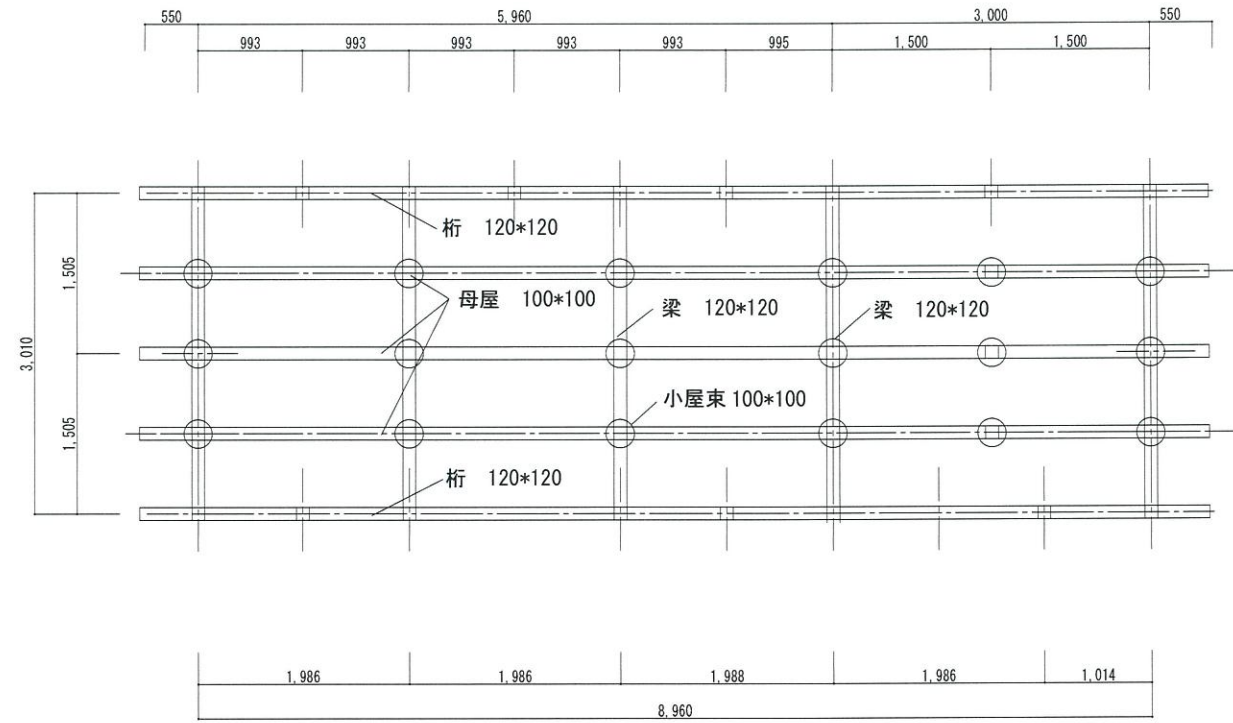
設計



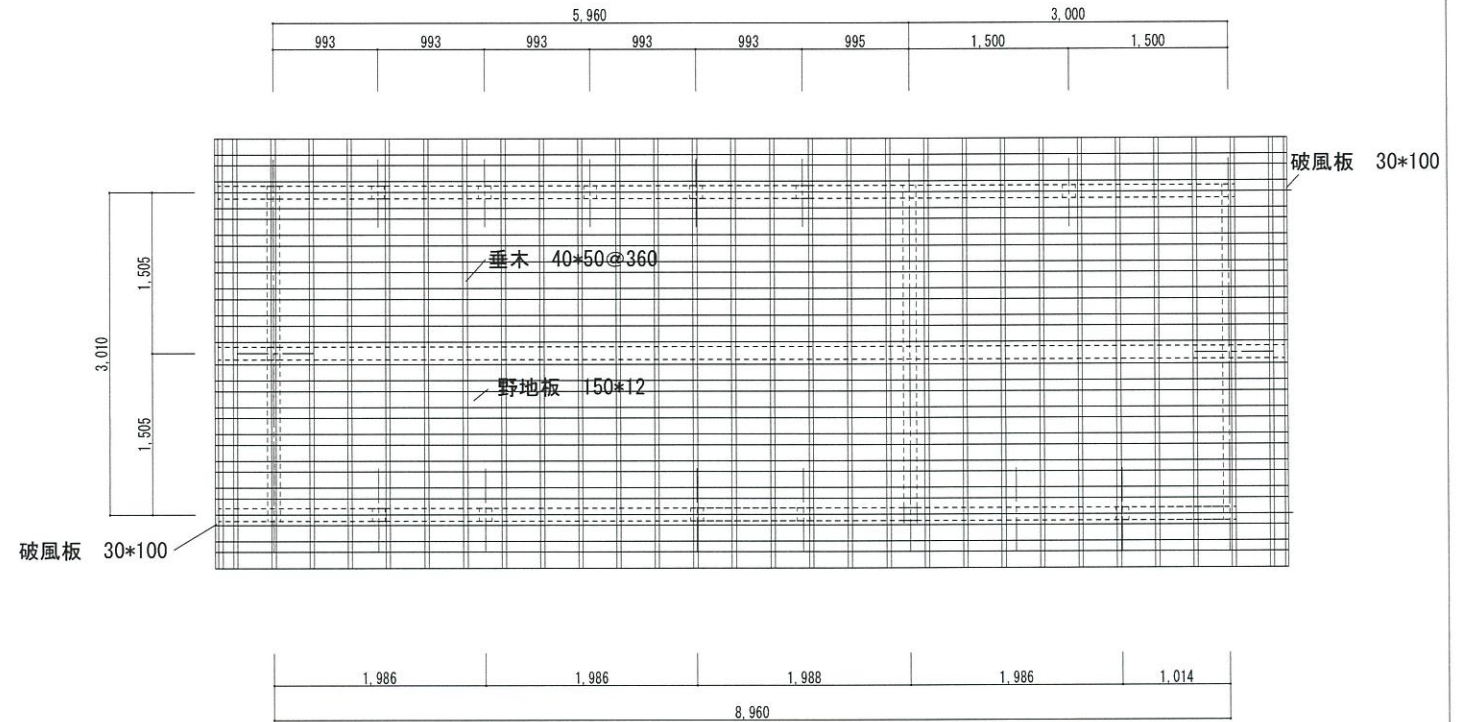
倉庫 基礎伏せ図 S=1:50



土台、柱図 S=1:50

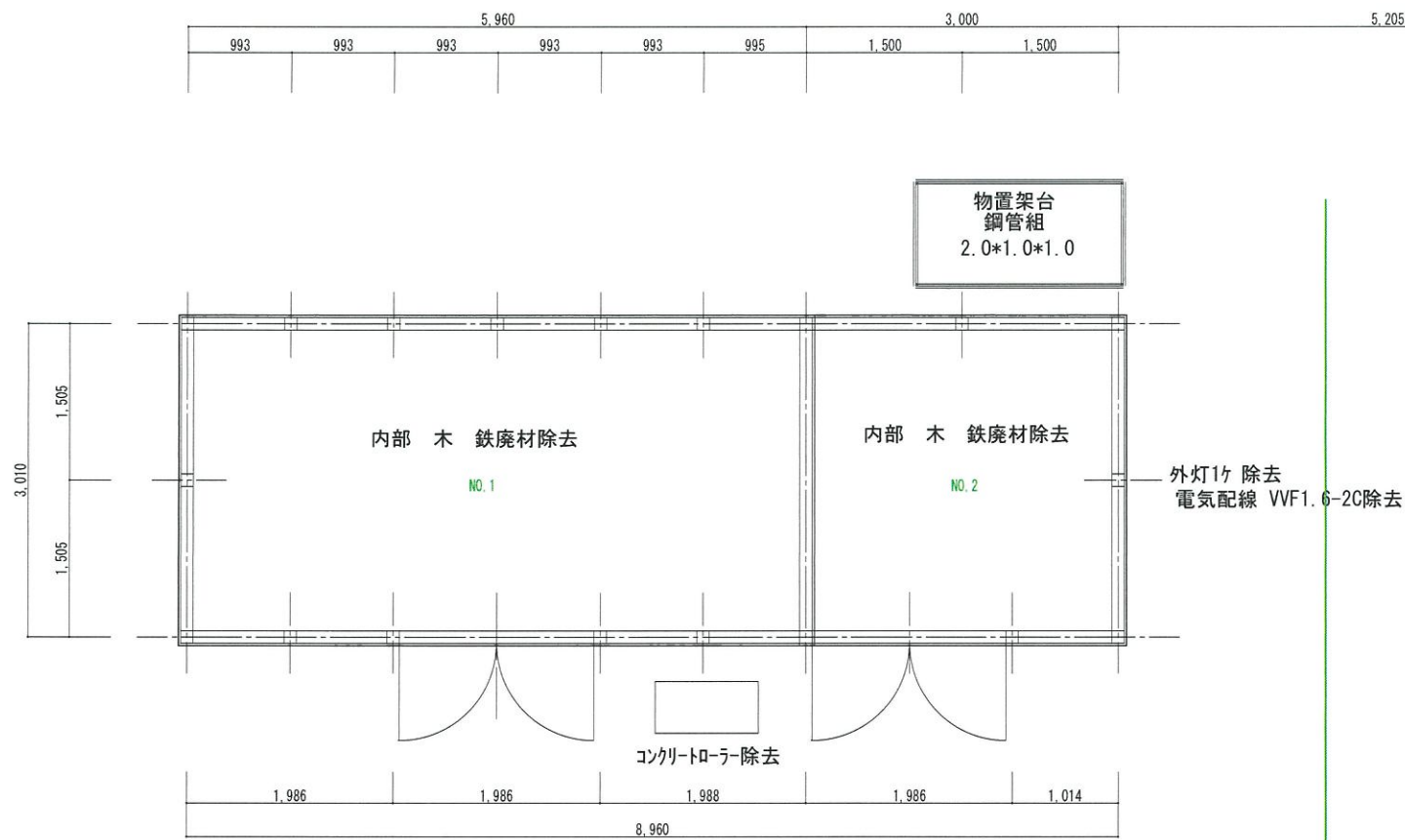


梁、桁伏せ図 S=1:50

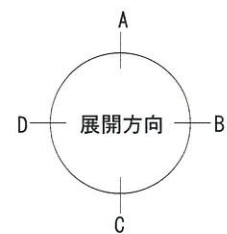


屋根伏せ図 S=1:50

旧下板木水泳プール他解体工事			有限会社 アイ設計コンサルタント		
図面番号 A-21 号		図面内容	広島県知事18(1)第1028号		
年 月 日		解体前 倉庫 伏せ図 S=1:50	一級建築士第157681号 杉 谷 優 治		
			担 当	製 図	設 計



倉庫 平面図 S=1:50

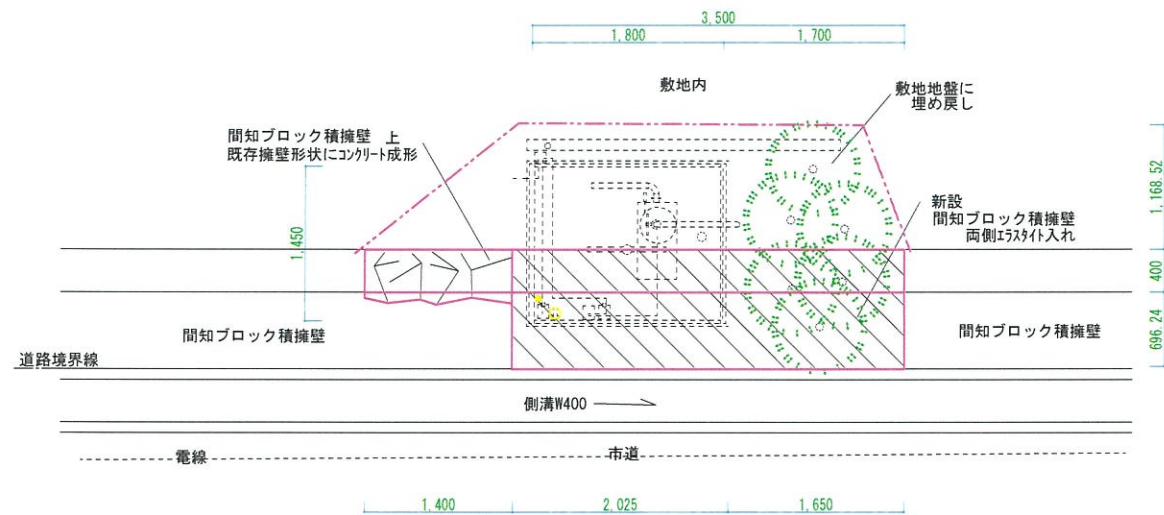


凡例

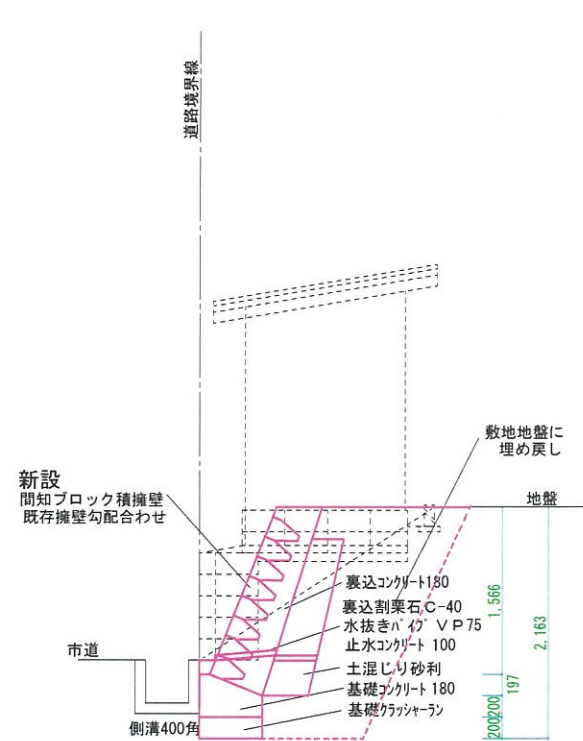
仮囲いガードフェンス H=1800 控え共

既存下板木コミュニティセンター

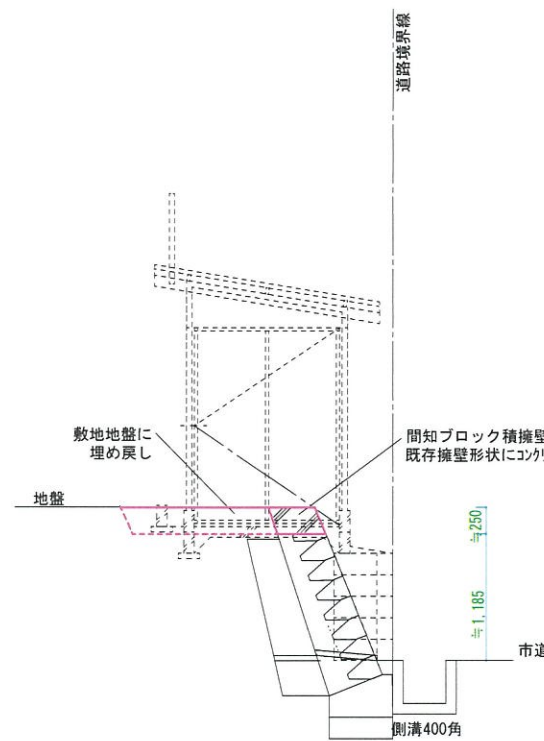
旧下板木水泳プール他解体工事			有限会社 アイ設計コンサルタント	
図面番号 K-2 号		図面内容 仮設 倉庫 配置、平面図		広島県知事18(1)第1028号 一級建築士第157681号 杉谷 優治
年 月 日		S=1:50		担当 製図 設計



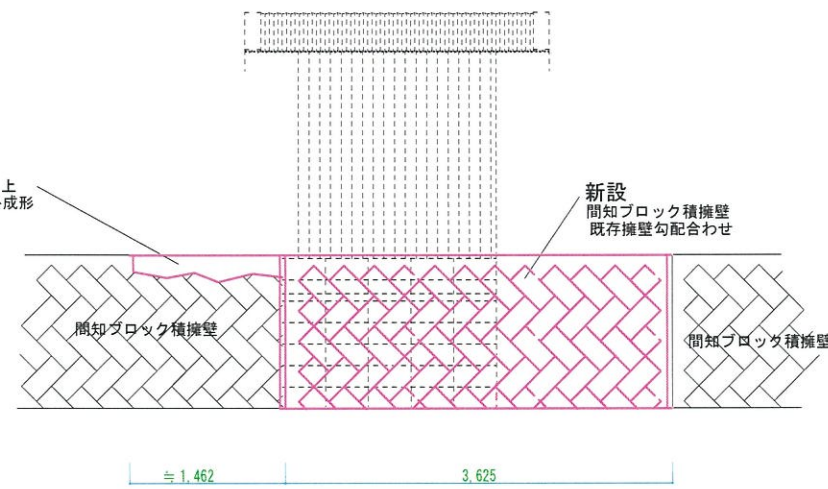
平面図 S=1:50



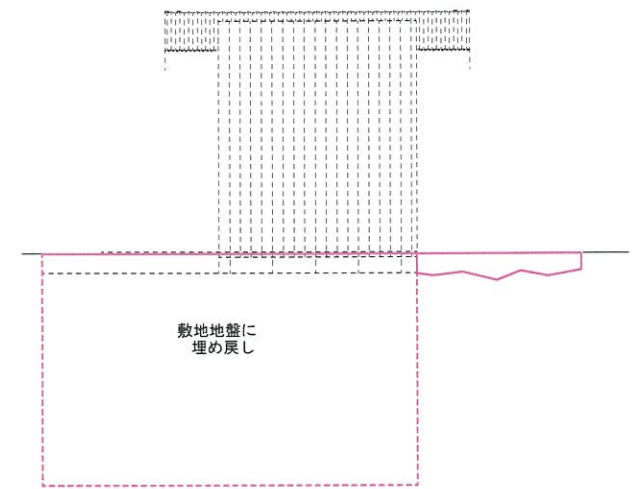
東側立面図 S=1:50



西側立面図 S=1:50



南側立面図 S=1:50



北側立面図 S=1:50

旧下板木水泳プール他解体工事

図面番号 A-22 号

図面内容

解体後 給水ポンプ庫跡

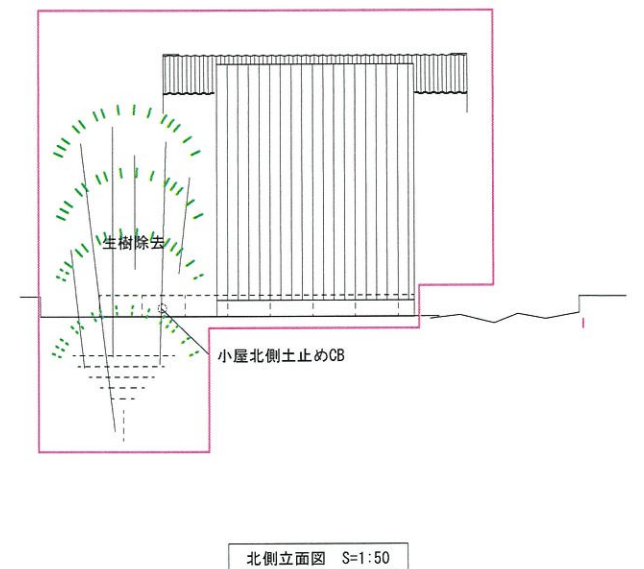
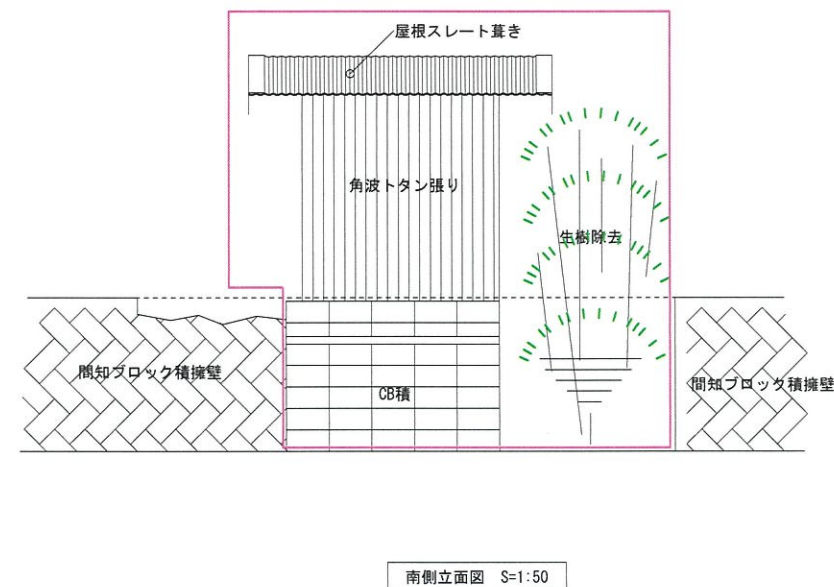
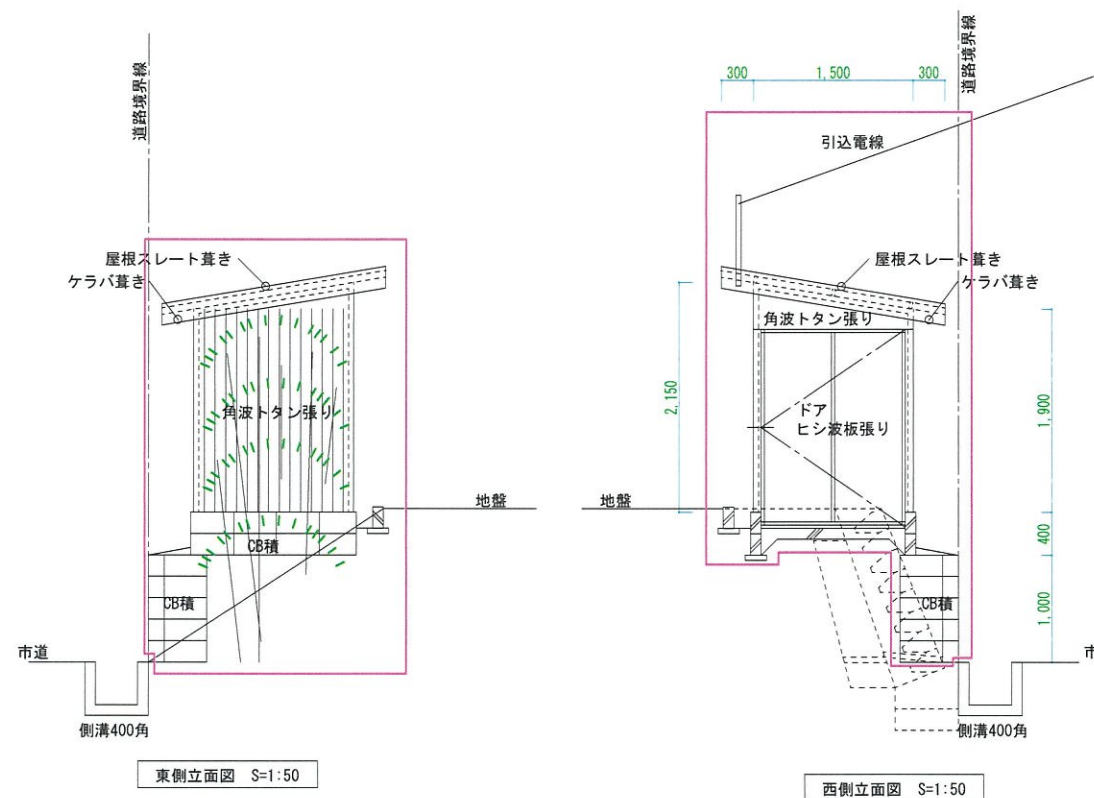
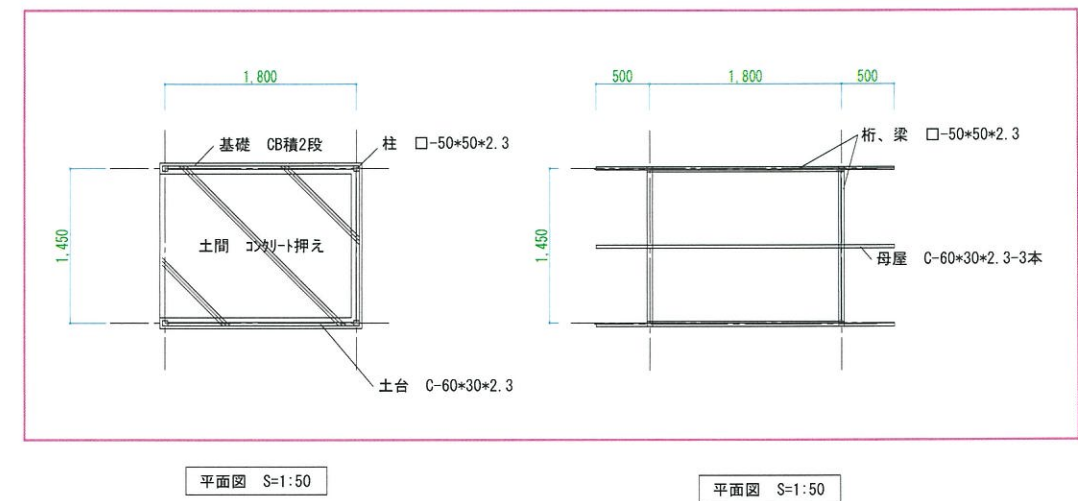
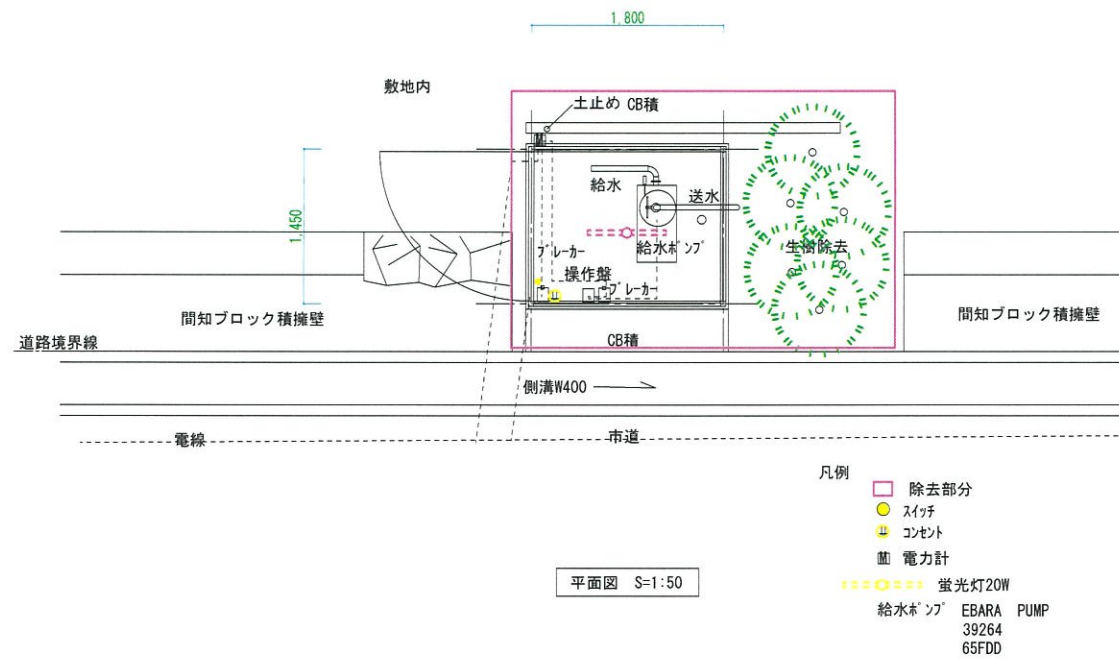
平面、立面、伏せ図 S=1:50

有限会社 アイ設計コンサルタント

広島県知事18(1)第1028号

一級建築士第157681号 杉谷優治

担当 製図 設計



旧下板木水泳プール他解体工事

図面番号 A-23 号

図面内容

解体前 給水ポンプ庫

平面、立面、伏せ図 S=1:50

有限会社

アイ設計コンサルタント

広島県知事18(1)第1028号

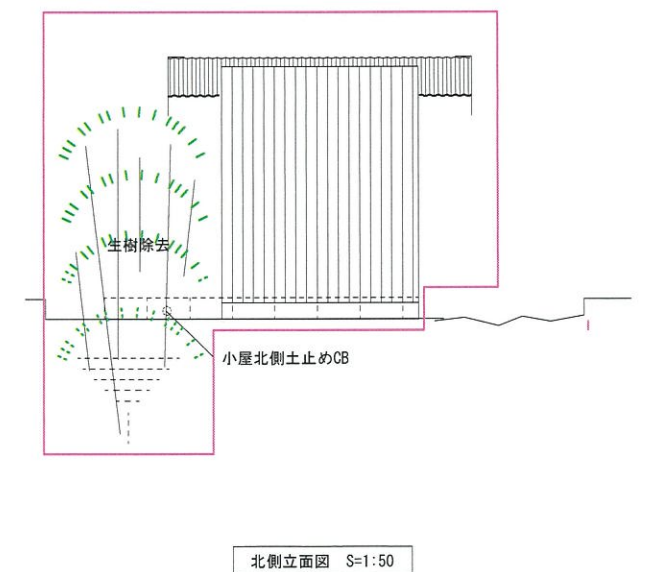
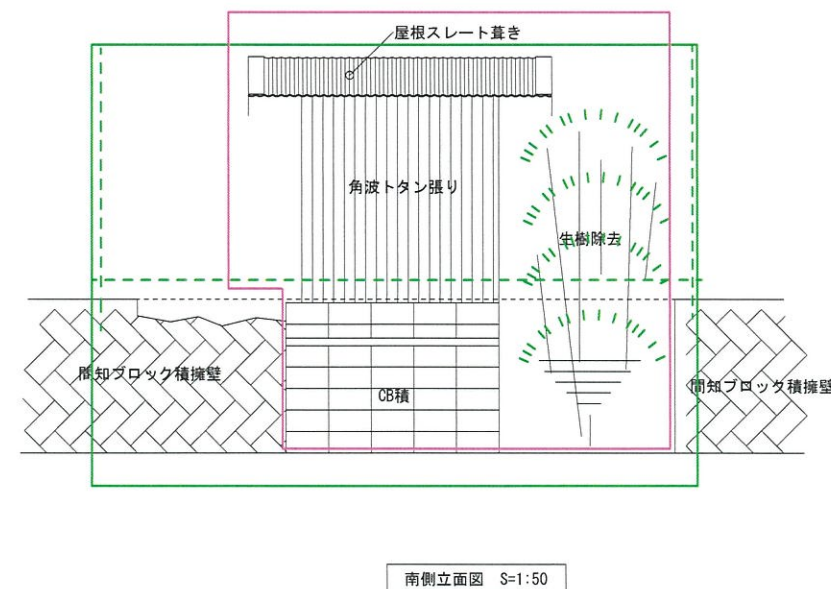
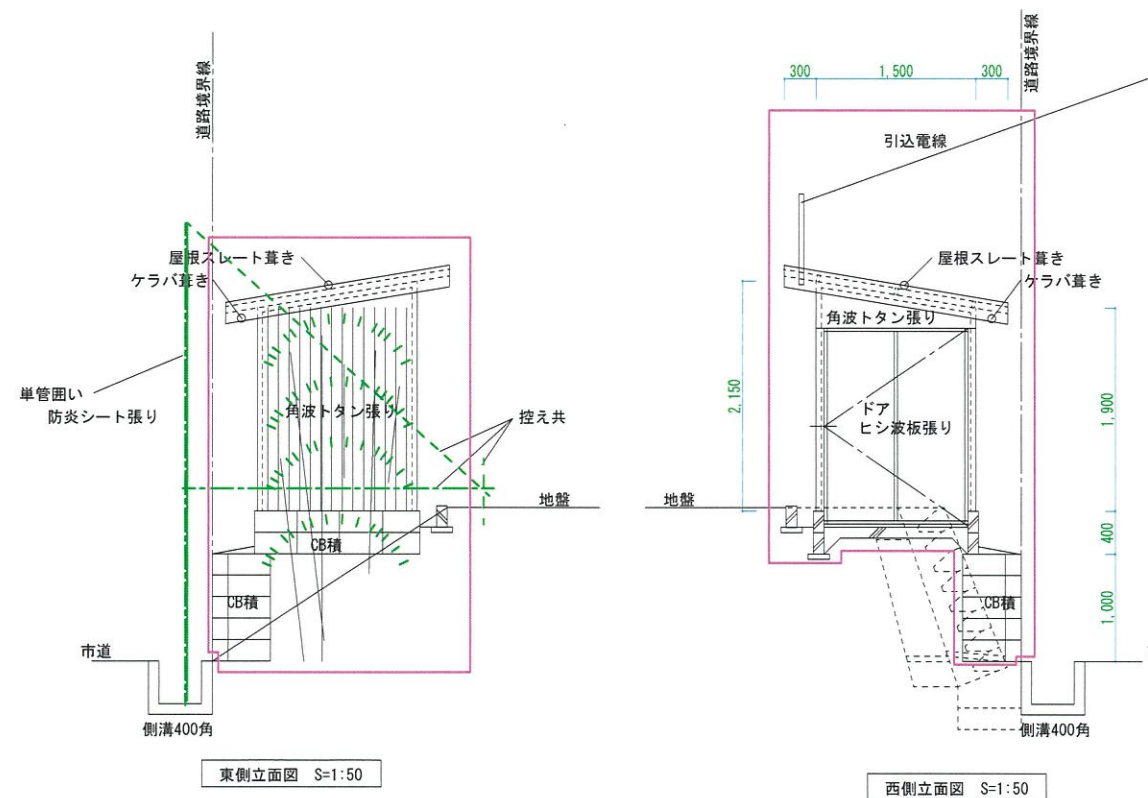
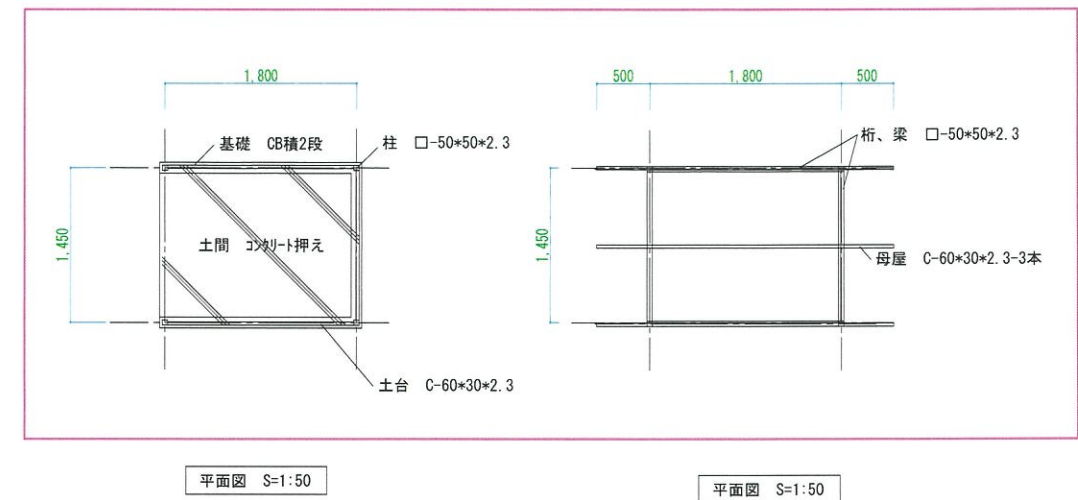
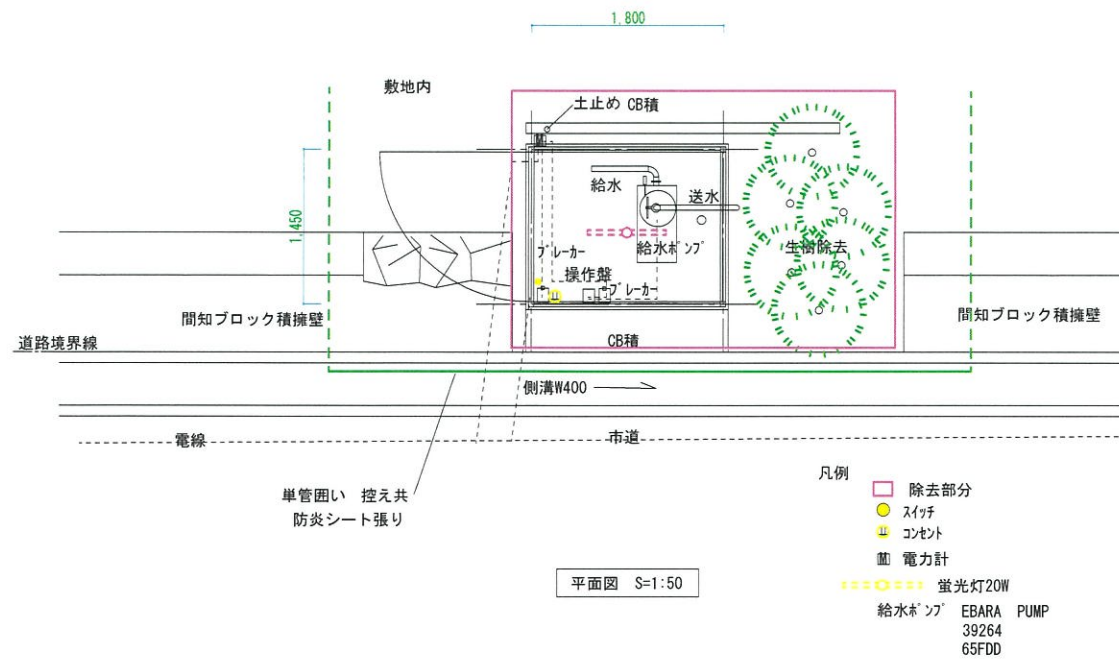
一級建築士第157681号 杉谷 優治

担当

製図

設計

年 月 日



旧下板木水泳プール他解体工事

図面番号 K-3 号

図面内容 仮設
既存 給水ポンプ庫

年 月 日

平面、立面、伏せ図 S=1:50

有限会社

アイ設計コンサルタント

広島県知事18(1)第1028号

一級建築士第157681号 杉谷 優治

担当

製図

設計